

授 業 概 要

科目名	導入教育	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	久保田 千尋				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1	単位	総時間数	30	時間
【授業を通じての到達目標】											
キャリアデザイン科で学び就職するための「身構え・気構え・心構え」を身に着けることができる 1年間一緒に過ごすクラスメイトと協力して学ぶことができるように相手を知ることができる											
【学習内容】（どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業では、学校の規則を知り円滑に学校生活を送れるように授業を行う。											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
ワークシート、フォーサイト手帳						自分自身を知るために、手帳を使って日々を振り返ることを行う					
授業計画											
・導入研修		クラスのメンバーに自分のことを知ってもらい、他のメンバーのことを知る。その中で一緒に協力してできるように、アイスブレイクやグループワークを通じて相互援助体制を構築する 1年間の目標を立て、目標に向かってそれを達成するために具体的な目標をたてる 就職活動について、基本的な活動の仕方についてオリエンテーションを行う teamsの使い方を理解し、スムーズに授業を受けられるように準備する 登校とオンライン授業とのハイブリット授業をするにあたって、オンライン授業の仕方や、SNSの使い方、情報リテラシーを学び、正しくSNSを利用できるようにする 自己分析を行い、自分自身を知る。そして今後の学生生活や、就職活動や進路活動など将来の進路選択が出来るように準備の仕方を知ることができる									
【履修に当たっての心構え・留意点】						【成績評価の方法と基準】					
自分のことだけでなく、クラスで協力することを考える。自分で、出来ないと思うだけでなく、出来る方法を考えたり、人に依頼が出来るように考える。						6段階評価の対象外科目であるため、出席率とS（合格）とU（不合格）で判断する。					

授 業 概 要

科目名	心理学	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	山岸 有里		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業 形態	講義	総単位数	2 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
「心理学」の基本的な知識とともに、自分を知り相手を理解するための知識を身に着ける。 さらに、心理検査についても学び一般的な性格のタイプとその特徴、対応方法について知る。									
【学習内容】									
公認心理師を取得し、臨床心理士として、20年カウンセリングを行いながら教員として心理系科目を担当。 特に、自分に自信を失っている人たちに、心理学を通して自分のを知ることで、自分を肯定的に受け入れられるようになってもらいたいと考えています。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
教科書なし。随時資料をTeamsにて共有					特になし				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 日常にある「心理学」を知る				9	【授業単元】 ・認知特性(聴覚認知)を鍛える① ・ストレスコントロール			
	【到達目標】 ・日常の心理学を調べる(小テスト5点)					【到達目標】 ・自分に合ったストレスコントロール法を知る (小テスト5点)			
2	【授業単元】 日常にある「心理学」を知る(心理テスト)①				10	【授業単元】 ・認知特性(聴覚認知)を鍛える② ・ストレスコントロール			
	【到達目標】 自分を知ることで、自己理解を深める(小テスト5点)					【到達目標】 ・自分に合ったストレスコントロール法を知る (小テスト5点)			
3	【授業単元】 日常にある「心理学」を知る(心理テスト)②				11	【授業単元】 ・認知特性(聴覚認知)を鍛える③ ・ストレスコントロール			
	【到達目標】 自分を知ることで、自己理解を深める(小テスト5点)					【到達目標】 ・ストレスコントロール法を実践した結果を共有する (小テスト5点)			
4	【授業単元】 心理テストを体験して、自己紹介をする③				12	【授業単元】 ・認知特性(言語認知)を鍛える①			
	【到達目標】 ・心理検査を体験し、自己理解と他者理解を深める(小テスト5点)					【到達目標】 ・認知の得意、不得意を知り、鍛える(小テスト5点)			
5	【授業単元】 他者との違いから自分を知る④				13	【授業単元】 ・認知特性(言語認知)を鍛える②			
	【到達目標】 ・心理検査、他者評価から自分を知り、自己紹介を他者に行う(2回目)(小テスト5点)					【到達目標】 ・認知の得意、不得意を知り、鍛える(小テスト5点)			
6	【授業単元】 認知特性について知り、認知特性を体験する。①				14	【授業単元】 ・認知特性(言語認知)を鍛える③			
	【到達目標】 ・認知の得意、不得意を知る(小テスト5点)					【到達目標】 ・認知の得意、不得意を知り、鍛える(小テスト5点)			
7	【授業単元】 認知特性について知り、認知特性を体験する。②				15	【授業単元】 これまでの結果をもとに、自分とはどういう人で何に気を付ける必要があるのかの自己分析を行い、自分の取説を作る			
	【到達目標】 ・視覚認知体験と自己評価を行い、自分を知る。(小テスト5点)					【到達目標】 ・これまでの授業での結果をもとに、自分の取説を提出する (PPを定期試験とする)			
8	【授業単元】 中テストとして、自己紹介となる資料作成(15点)				【成績評価の方法と基準】 定期試験:筆記試験形式で実施 小テスト、中テスト:提出物、筆記・実技試験で実施 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。 合計点数 GP A評価 100～90点 4.0 B評価 89～80点 3.0 C評価 79～70点 2.0 D評価 69～60点 1.0 E評価 59点以下又は出席不十分 不合格				
	【到達目標】 心理テスト、視覚認知についての自己理解と他者理解を深める								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
講義は、受身的な姿勢ではなく自ら学び取る姿勢で臨むこと。 タブレット、PC等を使用するため講義前に十分な充電をしておくこと。									

授 業 概 要

科目名	キャリアデザイン講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年 (前期)	担当 教員	久保田 千尋		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	2 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
人間関係形成力・社会形成能力・課題対応能力を養い、体現できるようになる。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業では、自分のことを理解するとともに、人との関わり方や、将来生活するための考え方などを知るための授業を行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
フォーサイト手帳					フォーサイト手帳を使用し、自分のやるべきことの目標を立て、振り返りをし、実行することができる				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 1年間の計画を立てる①				9	【授業単元】 インターシップと模擬面接会の振り返り			
	【到達目標】 自分の目標を立てることができる 1年間のスケジュールを知り、自分自身の目標を立てることができる					【到達目標】 インターシップと模擬面接会の振り返りをする できていたことできなかったことを整理し、就職活動が出来る準備をする			
2	【授業単元】 登校・オンライン授業をするにあたってルールを作成・考える				10	【授業単元】 インターシップ(体験)に向けての準備			
	【到達目標】 登校・オンライン授業をしてみ、感じていることや気になっていることを出す 学校に行き受ける授業とオンラインの授業の違いを出す それぞれのいいところ、難しいと感じるところを比較してみる					【到達目標】 実際に自分のいく場所を調べる 何を学びたいか、目標を立てることができる			
3	【授業単元】 これからの仕事の仕方や様々なコミュニケーションの方法について考える①				11	【授業単元】 インターシップ(体験)振り返り			
	【到達目標】 今の自分が人とコミュニケーションをとるツールについて考える 対面の仕事とオンラインを活用しての仕事の仕方について調べる グループワークをし、共有をする					【到達目標】 実際にインターシップを体験し、気づいたことなどをまとめる 自分が立てた目標に対してどうだったか振り返りまとめることができる			
4	【授業単元】 これからの仕事の仕方や様々なコミュニケーションの方法について考える②				12	【授業単元】 4ヶ月経っての振り返り			
	【到達目標】 今の自分が人とコミュニケーションをとるツールについて考える 対面の仕事とオンラインを活用しての仕事の仕方について調べる グループワークをし、共有をする					【到達目標】 4月入学してからの4ヶ月を振り返り、立てた目標が予定通りに進んでいるか確認する 出来ていること、出来てないことを整理し、今後の目標を立てることが出来る			
5	【授業単元】 入学してからの2か月を振り返る				13	【授業単元】 将来働くということについて考える			
	【到達目標】 入学してからの2か月を振り返り、目標に対して自分の行動がどうだったか知る できていることできていないことを整理し、これからの目標を立てる					【到達目標】 自分にとって働くとはどのようなことか考える クラスや授業でおこなったことが将来働くことにどうつながっているか考えることができる クラスで共有し、よいところは取り入れ、視野を広げることで自分の進路を決める参考にすることができる			
6	【授業単元】 夢を実現するための3つの行動原則				14	【授業単元】 良い習慣について考える			
	【到達目標】 導入研修の時に考えた夢を実現するための3つの行動原則ができているか振り返る 意識してできているか、できていないか整理し、優先順位を決めて出来ることからおこなうことができるようにする					【到達目標】 良い習慣について考え自分の行動を振り返り、今後就職していくうえでのストレスについて考える 自分の感じているストレスを知り、対処方法や発散方法を探することができる			
7	【授業単元】 インターシップに向けての準備				15	【授業単元】 前期の振り返りと定期試験			
	【到達目標】 導入研修の時に考えた夢を実現するための3つの行動原則ができているか振り返る 意識してできているか、できていないか整理する クラスで発表し、他者の意見を聞き参考にし、いいところや自分で出来るところは取りいれることができる					【到達目標】 前期の振り返りをまとめ、発表することができる 授業内定期試験			
8	【授業単元】 インターシップと模擬面接会の振り返りと中テスト				【成績評価の方法と基準】 講義全体を100点満点とし、定期テストを60点、小テストと中テストの合計を40点の配点とし、両者の合計点でA～Fの6段階で評価する。 ・試験は筆記試験で行う。 ・毎回の小テストは各回2コマで5点満点とし、中テスト(8回目の授業で実施)は15点満点とする。その合計(80点満点)の1／2の点数(小数点以下切り上げ)を小テストの合計点とする。				
	【到達目標】 インターシップと模擬面接会の振り返りをする できていたことできなかったことを整理し、就職活動につなげる								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
学校生活や就職にむけて自分らしく生活が出来るように、計画を立て実行する									

授業概要

科目名	キャリアデザイン講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年 (後期)	担当 教員	久保田 千尋		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	2 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
人間関係形成力・社会形成能力・課題対応能力を養い、体现できるようになる。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業では、自分のことを理解するとともに、人との関わり方や、将来生活するための考え方などを知るための授業を行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
フォーサイト手帳					フォーサイト手帳を使用し、自分のやるべきことの目標を立て、振り返りをし、実行することができる				
コマ	授業計画			コマ	授業計画				
1	【授業単元】 後期の目標を立てる			9	【授業単元】 現場総合学習などクラスでの行事をおこないチームで協力して行動することの大切さを振り返る②-2				
	【到達目標】 前期を振り返り、できたことでできなかったことを整理し、後半の目標をたてる クラスで発表することで、人のいいところを取り入れる				【到達目標】 他者との関わりの中で見えてきた自分の癖や考え方について振り返り、自分の良いところを知ることができる また、改善した方がいいところがあればそれはどこかを、変化する方法を考える クラスで共有し、他者からみた自分を知る。				
2	【授業単元】 サービスマインドやホスピタリティについて考える			10	【授業単元】 1年間と学習してきて、自分の強みを考える				
	【到達目標】 サービスマインド・ホスピタリティについて考える 実際に取り組みをさせる企業を調べて、共有する				【到達目標】 今までの学校生活で、出来たことをまとめる 個人でいいところや、クラスでいいところを出し合う				
3	【授業単元】 テーブルマナーやホテルのホスピタリティについて学ぶ			11	【授業単元】 自分たちがやってきたことを他者に伝えるにはどんな手法があるか考える				
	【到達目標】 テーブルマナーの歴史や、なぜテーブルマナーが必要なのか考える ホテルでのホスピタリティについて調べ、実際に体験する時の目標を考える				【到達目標】 卒業するにあたり、自分たちが成長してきた過程を自分だけでなく、他者に伝えるためにどうすればいいか、クラスで話し合うことができる 具体的に伝える手段としてどんなことがあるか調べ見つけることができる				
4	【授業単元】 防災について考える①			12	【授業単元】 自分の個性を出しながら、クラスでの団結力を見せる方法を考える				
	【到達目標】 防災とはについて知る 学校にいるときに災害が起きたら、避難場所などを知る 災害時に必要なことを知る				【到達目標】 自分たちの成長してきた過程を他者に伝える方法について具体的に話し合うことができる 自分の強みを活かし、クラスの強みをみんなと相談しまとめることができる				
5	【授業単元】 防災について考える②			13	【授業単元】 成果発表会準備				
	【到達目標】 防災とはについて知る 自分の住んでいる地域のハザードマップを調べ、避難場所などを知る 災害時に必要なことを知る				【到達目標】 成果発表会で何を行うか考えることができる 自分たちのできたことや強みを活かしながら項目を決めていくことが出来る 役割や準備の方法なども考えることができる				
6	【授業単元】 将来生活するために必要なお金について考える			14	【授業単元】 成果発表会準備				
	【到達目標】 働いて稼げるお金や税金、お金の使い方について考えることができる 自分の理想について考え、その生活をするためにいくらお金が必要か考えてみる事ができる				【到達目標】 成果発表会で何を行うか考えることができる 自分たちのできたことや強みを活かしながら項目を決めていくことが出来る 役割や準備の方法なども考えることができる				
7	【授業単元】 現場総合学習などクラスでの行事をおこないチームで協力して行動することの大切さを振り返る①-1			15	【授業単元】 振り返り、授業内定期試験				
	【到達目標】 他者との関わりの中で見えてきた自分の癖や考え方について振り返り、自分の良いところを知ることができる また、改善した方がいいところがあればそれはどこかを、変化する方法を考える クラスで共有し、他者からみた自分を知る。				【到達目標】 1年間の振り返りをしそれをまとめ、発表することができる 授業内定期試験				
8	【授業単元】 現場総合学習などクラスでの行事をおこないチームで協力して行動することの大切さを振り返る②-1 中テスト			【成績評価の方法と基準】 講義全体を100点満点とし、定期テストを60点、小テストと中テストの合計を40点の配点とし、両者の合計点でA～Fの6段階で評価する。					
	【到達目標】 他者との関わりの中で見えてきた自分の癖や考え方について振り返り、自分の良いところを知ることができる また、改善した方がいいところがあればそれはどこかを、変化する方法を考える クラスで共有し、他者からみた自分を知る。中テスト			・試験は筆記試験で行う。 ・毎回の小テストは各回2コマで5点満点とし、中テスト(8回目の授業で実施)は15点満点とする。その合計(80点満点)の1/2の点数(小数点以下切り上げ)を小テストの合計点とする。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
学校生活や就職にむけて自分らしく生活が出来るように、計画を立て実行する									

授業概要

科目名	ビジネスパソコンスキル(IT講座)	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(前期)	担当 教員	株式会社 ブレーンスタッフコンサルタンツ		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
・Wordでビジネス文書を作成できる ・PowerPointでスライドを作成できる ・Excelの基本的な操作を学び、表作成や簡単な計算ができる									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
滋慶学園グループの企業である(株)ブレーンスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
オリジナルのe-learningテキスト					e-learningテキストで操作手順を確認し、PC操作を実践する				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 Word_01 基本操作	ビジネス文書の各名称を覚えることができる			9	【授業単元】 PowerPointダイジェスト1	PowerPoint作成時に必要な基本操作ができる		
	【到達目標】								
2	【授業単元】 Word_02 基本操作	文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作ることができる			10	【授業単元】 PowerPointダイジェスト2	PowerPoint作成時に必要な基本操作ができる		
	【到達目標】								
3	【授業単元】 Word_03 画像や図形	画像や図形を駆使した文書を作成できる			11	【授業単元】 PowerPointアドバンス	図解や表を使って分かりやすい資料を作成できる		
	【到達目標】								
4	【授業単元】 Word_04 画像や図形	画像や図形を駆使した文書を作成できる			12	【授業単元】 Excel_01	以下の操作ができる オートフィル、シート操作、セルの選択練習、F4キー繰り返し操作、複数の列幅調整、入力と表作成		
	【到達目標】								
5	【授業単元】 Word_05 表の作成	表を駆使した文書を作成できる			13	【授業単元】 Excel_02	以下の操作ができる 四則演算、セル参照、SUM関数とAVERAGE関数		
	【到達目標】								
6	【授業単元】 Word_06 表の作成	表を駆使した文書を作成できる			14	【授業単元】 Excel_03	Excel_01と02で学んだ操作を繰り返し練習しスムーズに操作できる		
	【到達目標】								
7	【授業単元】 Word_07	Word講座で学習した操作を繰り返し練習し、設問指示に従った操作を実践できる			15	【授業単元】 Excel01-03復習・Excel定期試験	Excel01-03で学習した内容を踏まえて、設問指示にしたがってExcel基本処理を行える		
	【到達目標】								
8	【授業単元】 Word_08 中テスト	Word01-07で学習した内容を踏まえて、設問指示にしたがってWord操作を行える			【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。				
	【到達目標】								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
PC操作は日々繰り返すことでタイピング速度が上がり、効率的な資料作成やデータ処理が可能になります。できるだけ日常に取り入れて活用してください									

授業概要

科目名	ビジネスパソコンスキル(IT講座)	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(後期)	担当 教員	株式会社 ブレインスタッフコンサルタン		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
・Excelを利用し、表計算や表、グラフを作成できる ・情報を扱うための知識や注意点を理解し、正しく活用できる									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
滋慶学園グループの企業である(株)ブレインスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
オリジナルのe-learningテキスト					e-learningテキストで操作手順を確認し、PC操作を実践する				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 Excel_04				9	【授業単元】 Excel_12			
	【到達目標】 以下の操作ができる 相対参照と絶対参照の違いを学び活用できる					【到達目標】 以下の操作ができる IF関数、RANK.EQ関数			
2	【授業単元】 Excel_05				10	【授業単元】 Excel_13			
	【到達目標】 Excel_01~04で学んだ操作を繰り返し練習しスムーズに操作できる グラフの作成手順を理解し棒グラフを作成できる					【到達目標】 Excel日商検定に向けて模擬問題で操作を定着できる			
3	【授業単元】 Excel_06				11	【授業単元】 Excel_14			
	【到達目標】 以下の操作ができる 棒グラフ(集合縦棒・積み上げ縦棒)、折れ線グラフ、円グラフの作成 グラフの編集(グラフ移動、タイトル、軸ラベルと文字列の方向、ラベルオプション)					【到達目標】 Excel日商検定に向けて模擬問題で操作を定着できる			
4	【授業単元】 Excel_07				12	【授業単元】 情報倫理1(モラル/セキュリティ編)			
	【到達目標】 以下の操作ができる 相対参照と絶対参照の違いを学び活用できる					【到達目標】 情報化社会のモラルとセキュリティについて正しく理解できる			
5	【授業単元】 Excel_08				13	【授業単元】 情報倫理2(ネット編)			
	【到達目標】 Excel_01~07で学んだ操作を繰り返し練習しスムーズに操作できる データベースとは何かを理解できる					【到達目標】 ネット社会に潜む危険と対策について正しく理解できる			
6	【授業単元】 Excel_09				14	【授業単元】 情報倫理3(SNS、クラウド編)			
	【到達目標】 以下の操作ができる データベース(複数の順序並べ替え、いろいろなフィルター)					【到達目標】 Web1によるコミュニケーションについて正しく理解できる			
7	【授業単元】 Excel_010				15	【授業単元】 情報倫理まとめ 情報倫理試験			
	【到達目標】 Excel01~10で学習した内容を繰り返し練習し、設問指示に従った操作を実践できる					【到達目標】 情報倫理の基本概念を正しく理解できる			
8	【授業単元】 Excel_11 中テスト				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。				
	【到達目標】 Excel01~10で学習した内容を踏まえて、設問指示にしたがってExcel基本処理を行える								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
PC操作は日々繰り返すことでタイピング速度が上がり、効率的な資料作成やデータ処理が可能になります。できるだけ日常に取り入れて活用してください									

授 業 概 要

科目名	プレゼンテーション技術	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	株式会社 ブレンスタッフコンサルティング		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
・生成AIを活用した自己分析やリサーチを通じてプレゼンテーションの準備を効率的に行うことができる ・自身の想いや考えを「見える化」するデザインスキルを習得し、自分に合ったスタイルで「相手に伝わるプレゼンテーション」を行うことができる									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
滋慶学園グループの企業である(株)ブレンスタッフコンサルティングのラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
オリジナルのe-learningテキスト					e-learningテキストで操作手順を確認し、PC操作を実践する				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 プレゼンテーション技術オリエンテーション 生成AI入門				9	【授業単元】 ビジュアルガイド作成1(準備)			
	【到達目標】 Copilotを使って生成AIを正しく活用できる					【到達目標】 Canva・PowerPointを使ってビジュアルガイド(説明書)を作成できる			
2	【授業単元】 情報収集と要約スキル				10	【授業単元】 ビジュアルガイド作成2(作成)			
	【到達目標】 生成AIを使って情報を効率よく検索・整理する力を身につけることができる					【到達目標】 Canva・PowerPointを使ってビジュアルガイド(説明書)を作成できる			
3	【授業単元】 性格診断+相談者体験				11	【授業単元】 課題制作1			
	【到達目標】 性格診断を行い、生成AIとの対話を通じて新しい自分を発見することができる					【到達目標】 生成AIとCanva・PowerPointを使って決められたテーマに合ったスライドを作成をできる			
4	【授業単元】 自己PR作成				12	【授業単元】 課題制作2			
	【到達目標】 生成AIを活用して自分らしさが伝わる自己PR文・志望動機を作成できる					【到達目標】 生成AIとCanva・PowerPointを使って決められたテーマに合ったスライドを作成をできる			
5	【授業単元】 コミュニケーション体験				13	【授業単元】 プレゼンテーション発表			
	【到達目標】 生成AIとの会話がうまくいかなかった時の対処法を学び、活用できる					【到達目標】 作成したスライドをもとに発表できる			
6	【授業単元】 Canva資料作成				14	【授業単元】 ポートフォリオ作成1			
	【到達目標】 生成AIと会話をしながらアイデアを膨らませ、資料を作成することができる					【到達目標】 学校生活を振り返りポートフォリオを作成できる			
7	【授業単元】 PowerPoint操作まとめ				15	【授業単元】 定期試験:ポートフォリオ作成2 ※作成物で評価			
	【到達目標】 PowerPointの基本操作をスムーズに行える					【到達目標】 学校生活を振り返りポートフォリオを作成できる			
8	【授業単元】 中テスト:PowerPoint操作				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。				
	【到達目標】 Canvaを使ってビジュアルガイド(説明書)を作成を作成できる								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
PC操作は日々繰り返すことでタイピング速度が上がり、効率的な資料作成が可能になります。できるだけ日常に取り入れて活用してください。									

授業概要

科目名	好き・とくい発見講座	必修選択の別	必修選択	開講区分	通年(前期)	担当教員	百木千う子、鳥沢久美子、宮原大空、代田望都、山下智子、茂木茜、塩原俊之		
学科コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
各分野の内容や面白さを体験し、自分の興味関心や特徴を知るヒントとする。それぞれの分野では以下のこと目標とする。 ・アロマテラピーや精油を知り、アロマ(かおり)のもつ作用と感じ方の違いを通じて組み合わせを知る。また、環境や気分に合わせて香りを調合し完成させる。アロマ(かおり)のもつ作用と感じ方の違いを通じ、どのように組み合わせると良い香りになるか、また、環境や気分に合わせて香りを調合し完成させる。・保育の現場で体験できる簡単な遊びを知る・保育の仕事について知る。また、インターンシップへの期待がもてるように現場のエピソードを聞く。・科学の楽しさ・おもしろさを知り実験を中心とした体験を通して業界を知る。・認知症について知る。また、車いすや食事介助などを体験し福祉の業界を知る。・保険医療機関における受付・会計業務の内容を理解し、医療コンピュータによる受付から会計までの業務を知る。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
それぞれの分野の専門家によって、その分野の面白さを知る授業を展開。 【アロマ】エステティシャン歴28年。東京ベルエポック美容専門学校エステ科非常勤講師(2017～2020)。エッセサロン経営(青山・船堀)。【バイオ】実際の商品開発の体験をして科学実験の楽しさを知る。【保育】幼稚園教師・保育士として社会福祉施設にて17年勤務。現在は文京区内の認可保育園にて園長として勤務。実際の保育現場のエピソードを通して保育という仕事の楽しさを知ってほしいと思います。【技工】姉妹校である新東京歯科技工士学校で広報を担当する教員から、歯科技工を面白く体験しながら業界を知る。【バイオ】姉妹校である東京バイオテクノロジー専門学校の専門の教員から、科学の楽しさ・おもしろさを知る授業を体験し業界を知る。【福祉・介護】介護や看護の仕事経験のある教員が介護について介護の仕事についての理解を深めるような授業を展開。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
各分野の資料をTeamsにUP					次の授業で必要なものを調べたり写真を準備したりする。				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 【アロマ】アロマを知ろう！ 【到達目標】 アロマって何だろう？ 香水とは違うの？ 香りの持つパワーを実際に嗅ぎながら感じ取るできる。				9	【授業単元】 【バイオ】科学捜査(血痕検査)に挑戦しよう 【到達目標】 【バイオ】試薬の安全な取り扱いを身に付ける。 ルミノール反応を通して、検査・実験をする仕事を知る。			
2	【授業単元】 パーソナルカラーは何か？パーソナルカラー診断の実践を体験し色による見え方の違いを体験する。 【到達目標】 パーソナルカラー診断の実践を体験し色による見え方の違いを体験する。理論が映画やドラマ・CMキャラクターにどのように活用されているかを知り4シーズンの違いを知る。				10	【授業単元】 【福祉】認知症について知ることができる 【到達目標】 ・認知症とは何かを知る 脳の病気 4大認知症 認知症と似ている病気 ・認知症のある人の生活を知る 高齢者の場合、若年者の場合など			
3	【授業単元】 【アロマ】自分のお気に入りアロマで、アロマストーンを作ろう 【到達目標】 気分や好みに合わせた香りを、部屋や玄関に香らせるためのアロマストーンを作る。				11	【授業単元】 【保育】『保育の仕事とは？』② 【到達目標】 保育の仕事について知る。また、絵本やパネルシアターなどに触れ、子どもの好きなものを実際に体験してみる。			
4	【授業単元】 【歯科技工】歯科材料を使ってスマホリングをつくる 歯科材料デコレーションペンをつくる 【到達目標】 スマホリングをつくることができる デコレーションペンをつくることができる				12	【授業単元】 【福祉】車いすの基本的操作とコミュニケーションの基本 【到達目標】 高齢者の気持ちを想像しながら基本的な車いす操作を学ぶことができる			
5	【授業単元】 【歯科技工】本物そっくりの白い歯をつくる 【到達目標】 本物そっくりの白い歯をつくることができる				13	【授業単元】 【介護】食べるメカニズムの理解と食事介助の基本 【到達目標】 高齢者の気持ちを想像しながら食事介助の基本を学ぶことができる。			
6	【授業単元】 【アロマ】アロマストーンの完成 【到達目標】 飾りたい場所や香りの好みを想像して、アロマストーンを完成させる。				14	【授業単元】 【医療事務】医療費の仕組みについて 【到達目標】 レセプトとは何か、医療費のしくみを知りカルテを作成する。保険医療機関における受付・会計業務の内容を知る。			
7	【授業単元】 【保育】『保育の仕事とは？』① 【到達目標】 保育の仕事について知る。また、絵本やパネルシアターなどに触れ、子どもの好きなものを実際に体験してみる。				15	【授業単元】 それぞれの分野の振り返り 定期試験 【到達目標】 将来に活用するために、自分のできること、できないこと、興味があることを明確にすることができる。			
8	【授業単元】 【バイオ】商品開発に挑戦 ①人工いくらを開発しよう 【到達目標】 商品である人工いくらの色や大きさ、硬さなどを考え、商品を完成させる。開発実験を通して、食品開発者の仕事を知る。				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 各授業の小テストは以下の通り。小テスト(3点×7コマ3分野)+(5点×3分野)+(4点×1分野)=40点と定期試験60点の合計で評価を行う。定期試験はレポート提出とし、60点満点とする。 ・アロマ、カラー、福祉の分野の小テスト1コマ3点満点 ・歯科技工、保育、バイオの分野の小テストは5点満点 ・医療事務分野の小テスト4点満点				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
【アロマ】香りは好きがありますので、合わない場合は担当教員に申し出てください。アロマオイルは直接触れないよう注意してください。 【バイオ】実験時の身だしなみ：長い髪は結ぶ、半ズボン・スカートの着用はしない、履物はサンダルとヒールは避ける									

授業概要

科目名	好き・とくい発見講座	必修選択の別	必修選択	開講区分	通年(後期)	担当教員	小林健、高岸裕一、作業ロク、尾高力斗、中島由里子、百瀬留美、赤間亮一
学科コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の方法	演習	単位数	2 単位 総時間数 60 時間
【授業を通じての到達目標】							
各分野の内容や面白さを体験し、自分の興味関心や特徴を知るヒントとする。それぞれの分野では以下のこと目標とする。・作業療法士の仕事を知り実際の作業活動(ダンスや造形)を通して、自己表現に取り組む。・美容について知ることメイクアップ、コスプレなどを学び、身だしなみを整えることを身につける。・楽しく絵を描き漫画の書き方や技術を体験する。・音楽を通して自分自身を肯定させられる力を身につけ、社会に出てからも周囲と協働しながら課題解決に取り組む力をつける。・動植物の生態を通して変化の観察や楽しさを知り業界に興味を持つ。・歯科医院の業務を知り興味を持って体験することが出来る。・ビジュアルプログラミングアプリケーションである「scratch」を通してプログラミングを体験する。プログラミング的思考について理解を深める。							
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)							
各分野において、さまざまな経験のある教員が、各分野の基礎知識や面白さを伝える授業。【ダンス・造形】作業療法士として19年目。専門は精神科領域。現在は障害者の就労支援事業所を運営しつつ、幼稚園にて児童表現あそびの講師も行う。ダンス、演劇などの表現活動歴は35年で障害者や子供たちが自分らしく生活できることをテーマに支援活動に取り組んでいる。【美容】世界コスプレ技術検定協会の理事、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。美容について身だしなみに必要なコスメ・メイクアップ・ヘアスタイリング・パーソナルカラーなどを学ぶ。【マンガ】主作品「ブスに花実を。」の作者である漫画家が、動物や人の書き方、漫画の技術の効果を学び体験する。【音楽】ミュージカル業界、POPS業界、国内外問わず活躍するTHE SOULMATESに所属する教員がコミュニケーション「ワーク」を用いて音楽による歌唱指導を実施する実践型の授業である。【植物・動物】動物や植物に関わったことがある教員が動物の生態や育て方について学ぶ授業を展開【歯科】歯科衛生士の資格がある教員が歯科医療業務を体験する授業を展開。【プログラミング】「プログラミング的な思考力を身につける」ために論理的かつ効率的な物事への考え方を指す。大学ICT教育の経験がある教員がプログラミング的思考を意図した授業を行う。							
【使用教科書・教材・参考図書】				【授業時間外における学習】			
各授業でプリント配布【美容】世界コスプレ技術検定協会公式デジタルテキスト魔法書、【マンガ】カット、給染、マッキー、定規、【音楽】歌詞、音源データ、【プログラミング】スクラッチドリルブック(カットシステム)				次の授業で必要なものを準備する			
コマ	授業計画			コマ	授業計画		
1・2	【授業単元】 【エンターテインメント】分野を知りダンス体験 【到達目標】 ストレッチを通して、自分の身体に意識を向ける。リズムに合わせて、身体を動かしてみる。こころや表情が変わっていくのを感じる。振付けを見よう見まねで覚える。皆とともに、ダンスを楽しむ。クールダウンできる。			17・18	【授業単元】 【音楽】挑戦と発見：歌唱上達のプロセスを体験する 【到達目標】 たくさん歌うことで、最初は難しいと思った曲でも歌えるようになるんだと感じることができる。 ゲームを通して少しでも何かを感じるることができる。		
3・4	【授業単元】 【エンターテインメント】分野を知り造形(陶芸)体験 【到達目標】 陶芸の手順を理解する。粘土から成形し、世界に1つだけの作品づくりに取り組む。 世界に1つだけの陶芸作品を完成させる。(今回は、成形～素焼き前まで)			19・20	【授業単元】 【植物】苔玉をはじめとする及び古典園芸について 【到達目標】 苔玉制作を通して植物を生活の中に取り入れる方法を学び、自然環境への理解を深める。		
5・6	【授業単元】 【美容】導入、美容、ヘアメイクの仕事を紹介、道具の使い方、名称、テキスト配布 【到達目標】 美容、ヘアメイク業界の仕事や道具などの名教や使用方法を覚える。化粧品道具を使用してデザインを描いてみる			21・22	【授業単元】 【動物】動物関連の専門学校の校舎見学 【到達目標】 校舎見学を通して、動物のことを知る		
7・8	【授業単元】 【美容】2.5次元舞台のメイクアップについて 【到達目標】 コスプレメイクデザイン① 協力して男性キャラクターメイクをウィッグにする。			23・24	【授業単元】 【動物】動物・植物について学ぶ 【到達目標】 動物の生態について知る 動物の育て方について学ぶ		
9・10	【授業単元】 【美容】2.5次元舞台のメイクアップについて 【到達目標】 コスプレメイクデザイン② 協力して女性キャラクターメイクをウィッグにする。			25・26	【授業単元】 【歯科衛生】プロの道具について 印象採取から石膏模型制作 【到達目標】 歯科衛生士の業務を知り道具を使ってみる 歯の模型を取ることで歯科業務に携わる		
11・12	【授業単元】 【マンガ】絵とセリフで伝える、4コマまんが制作 自分だけのファッション・デザインと色彩 【到達目標】 【マンガ】円等の図形から想像して色々な動物を描くことができる。動物同士の会話の様子を描くことができる。 髪型や服装に興味を持つ。お気に入りのファッションを絵で表現できるようになる			27・28	【授業単元】 【プログラミング】ビジュアルプログラミング① ビジュアルプログラミング② 【到達目標】 ①スクラッチのアカウントを取得する。チャレンジ01のコードベディアを実施する。 ②チャレンジ03、05、07、09、11のコードベディアを実施する。		
13・14	【授業単元】 【マンガ】漫画家体験。 ペン入れ・ベタ・トーンの基本 【到達目標】 【マンガ】モノクロマンガの表現に興味を持つことができる。定規やカットターを上手に使うことができる。 自分が興味のあることを絵やマンガで表現できるようになる。			29・30	【授業単元】 【プログラミング】ビジュアルプログラミング③ 【定期試験】 【到達目標】 【プログラミング】③チャレンジ13、15、17、21、23のコードベディアを実施する。 【定期試験】後期のまとめを行い、自分のできること、できないこと、興味があることを明確にすることができる。		
15・16	【授業単元】 音楽について 【到達目標】 音楽の授業の目的が分かる。 NLPの大切さが少しでも分かる。			【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 ダンス、造形、美容、植物、歯科衛生の5分野は連続2コマを1回として小テスト3点満点 マンガ、音楽、動物の3分野はそれぞれ小テスト5点満点 プログラミングは3コマ小テストが4点満点 小テスト(3点×7日分5分野)+(5点×3分野)+(4点×1分野)=40点と定期試験60点の合計で評価を行う。 定期試験はレポート提出とし、60点満点とする。			
【履修に当たっての心構え・留意点】							
うまくできないことは気にせず、いろいろなものにチャレンジしましょう。 自分の思ったことを発信し、みんなでも考える姿勢で臨みましょう。 各講座ごとに注意事項をお伝えしますので安全に体験しましょう。							

授 業 概 要

科目名	コンピューターとプログラム	必修 選択の別	必修選択	開講 区分	後期	担当 教員	株式会社グッドワークス 野中和也		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
コンピュータの基本構成や動作原理などの基礎知識を理解するとともに、現代社会において活用されているプログラムの役割や仕組みを説明できるようになることを目標とする。また、アルゴリズムの基礎的な考え方を身に付け、簡単なプログラムを自ら設計し、記述・実行できる力を養う。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
本授業は、ネットワークエンジニアとしての実務経験および業務効率化を目的としたWebアプリケーションやマクロ開発の経験を有する教員が担当する。実務での課題や改善事例を交えながら、コンピュータ技術が社会や業務を支える仕組みを学ぶ。講義ではコンピュータやOS・ネットワークの基礎を体系的に理解し、演習では実際にプログラムを記述する。文法の習得にとどまらず、問題解決のための考え方を重視する。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
配布プリント					授業内容の復習を行い、専門用語や基本概念を確実に理解すること。プログラミングについては、授業で扱った内容を自宅でも再現し、反復練習を行う。理解が不十分な点は自ら調べ、主体的に学習を進めること。				
コマ	授業計画			コマ	授業計画				
1	【授業単元】 コンピュータの概要と役割			9	【授業単元】 CSSの基礎				
	【到達目標】 コンピュータの基本的な役割を説明できる。				【到達目標】 CSSを用いて簡単な装飾ができる。				
2	【授業単元】 コンピュータの構成			10	【授業単元】 JavaScriptの基礎				
	【到達目標】 CPU・メモリ・ストレージの役割を説明できる。				【到達目標】 簡単なスクリプトを記述できる。				
3	【授業単元】 データと情報の基礎			11	【授業単元】 Webページへの動きの追加				
	【到達目標】 2進数の概念とデータ表現の基本を理解する。				【到達目標】 HTML/CSS/JSを組み合わせた簡単なページを作成できる。				
4	【授業単元】 ネットワークの基礎			12	【授業単元】 Pythonの基礎①				
	【到達目標】 ネットワークの基本構成を説明できる。				【到達目標】 Pythonの基本文法を理解する。				
5	【授業単元】 インターネットの仕組み			13	【授業単元】 Pythonの基礎②				
	【到達目標】 Web閲覧の流れを説明できる。				【到達目標】 条件分岐・繰り返しを用いた簡単なプログラムを作成できる。				
6	【授業単元】 アルゴリズムの基礎			14	【授業単元】 総合演習				
	【到達目標】 アルゴリズムの概念を理解し、簡単な手順を表現できる。				【到達目標】 これまでの知識を用いて簡単なプログラムを作成できる。				
7	【授業単元】 プログラミングの基本概念			15	【授業単元】 中間テスト				
	【到達目標】 プログラムの基本構造を理解する。				【到達目標】 コンピュータ基礎およびプログラミングの基礎理解を確認する。				
8	【授業単元】 HTMLの基礎			【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。					
	【到達目標】 基本的なHTMLを記述できる。								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
本授業では毎回パソコンを使用するため、必ず持参すること。講義で得た知識を演習で実践し、主体的に手を動かしながら理解を深めることが重要である。不明点は自ら調べ、積極的に質問する姿勢を求める。									

授業概要

科目名	MOS試験対策講座	必修 選択の別	必修選択	開講 区分	通年(前期)	担当 教員	株式会社 ブレーンスタッフコンサルタンツ		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
MOS Word365(一般レベル)合格レベルの知識を身につけ、指示に沿った正しい操作ができる									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
滋慶学園グループの企業である(株)ブレーンスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
FOM出版「よくわかるマスター MOS Word365対策テキスト&問題集」					教科書で学習した内容の操作手順を確認し、繰り返しPC操作を実践する				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 MOS試験オリエンテーション Wordスキルチェック				9	【授業単元】 文書の管理と保護			
	【到達目標】 MOS試験の特徴を知り、現在の自分の操作レベルを確認することができる					【到達目標】 プロパティの編集や、文書の検査・保護設定を理解する			
2	【授業単元】 基本的な書式設定(フォント・段落)				10	【授業単元】 検索・置換と書式のコピー			
	【到達目標】 フォントの書式、配置、箇条書きなどの基本ルールを適用できる					【到達目標】 文書内の情報を素早く探し出し、書式を一括で整える効率化を学ぶ			
3	【授業単元】 段落の応用(インデント・行間・タブ)				11	【授業単元】 SmartArtとアイコンの活用			
	【到達目標】 インデントやタブを使い、文書の構造を正確に整えることができる					【到達目標】 図解(SmartArt)やアイコンを使い、情報を視覚的に整理できる			
4	【授業単元】 表の作成と基本操作				12	【授業単元】 セクション区切りと特殊なレイアウト			
	【到達目標】 表の挿入、行・列の操作、セルの結合・分割をスムーズに行える					【到達目標】 1つの文書内で、ページごとに異なる向きや余白を混在させられる			
5	【授業単元】 表の書式設定とデータ管理				13	【授業単元】 参照設定(1):脚注と目次			
	【到達目標】 表のスタイル、配置、並べ替えを指示通りに実行できる					【到達目標】 脚注の挿入と、見出しスタイルを利用した目次の自動作成ができる			
6	【授業単元】 図形・画像の挿入とレイアウト				14	【授業単元】 参照設定(2):図表番号と索引			
	【到達目標】 図形や写真を挿入し、文字列の折り返しやサイズを適切に調整できる					【到達目標】 図表へのラベル付けや、巻末の索引作成の手順を習得する			
7	【授業単元】 ページ設定と印刷の準備				15	【授業単元】 定期試験:中間チェックテスト(応用機能)			
	【到達目標】 余白、向き、サイズ、ヘッダー・フッターを正しく設定できる					【到達目標】 セクション区切りや参照設定を含む、長文の管理機能を使いこなせる			
8	【授業単元】 中テスト:習熟度チェックテスト(基本操作)				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。				
	【到達目標】 フォントからページ設定まで、Wordの基本機能を組み合わせて文書を作成できる								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
MOS試験では問題の指示に従った正しい操作が求められます。自己流や何となくではない正しい操作を練習して身につけていきましょう。									

授業概要

科目名	MOS試験対策講座	必修 選択の別	必修選択	開講 区分	通年(後期)	担当 教員	株式会社 プレーンスタッフコンサルタンツ		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
MOS Word365(一般レベル)合格レベルの知識を身につけ、指示に沿った正しい操作ができる									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
滋慶学園グループの企業である(株)プレーンスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
FOM出版「よくわかるマスター MOS Word365対策テキスト&問題集」					教科書で学習した内容の操作手順を確認し、繰り返しPC操作を実践する				
コマ	授業計画			コマ	授業計画				
1	【授業単元】 変更履歴の記録と管理	9			【授業単元】 弱点撃破(1):間違えた問題を「得意」に変える	10			
	【到達目標】 修正箇所の記録、承諾・拒否など、共同編集の作法をマスターする				【到達目標】 ミスした原因を自分で突き止めて対策を考えることができる				
2	【授業単元】 コメントの管理と文書の比較	10			【授業単元】 模擬テストに挑戦3	11			
	【到達目標】 コメントの挿入・解決や、2つの文書の差異を確認する方法を学ぶ				【到達目標】 文書内の情報を素早く探し出し、書式を一括で整える効率化を学ぶ				
3	【授業単元】 差し込み印刷(1):宛名ラベル	11			【授業単元】 弱点撃破(2):苦手な「参照・差し込み」を特訓	12			
	【到達目標】 外部データを利用して、効率的にラベルを作成・印刷できる				【到達目標】 苦戦しがちな高度な機能を重点的に操作し身につけることができる				
4	【授業単元】 差し込み印刷(2):レターの作成	12			【授業単元】 模擬テストに挑戦4	13			
	【到達目標】 共通の文面に個別の氏名などを挿入する高度な機能を習得する				【到達目標】 正確性とスピードを意識して操作することができる				
5	【授業単元】 模擬試験プログラム	13			【授業単元】 模擬テストに挑戦5	14			
	【到達目標】 試験プログラムの動かし方を覚え、解く順番のコツを掴むことができる				【到達目標】 どのような問題が出ても対応できるよう、全範囲を最終網羅できる				
6	【授業単元】 模擬テストに挑戦1	14			【授業単元】 総仕上げ:裏技と時短テクニック	15			
	【到達目標】 今の自分の実力が何点くらいかを把握することができる				【到達目標】 ショートカットや右クリック活用など効率的な操作を復習し、実践することができる				
7	【授業単元】 模擬テストに挑戦2	15			【授業単元】 定期試験:最終確認テスト	16			
	【到達目標】 見たことがない指示が出ても、落ち着いて操作を探すことができる				【到達目標】 これまでの学習の成果を落ち着いて発揮できる				
8	【授業単元】 中テスト:模擬判定テスト	【成績評価の方法と基準】			科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。				
	【到達目標】 本番形式で700点(合格ライン)突破をめざす								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
MOS試験では問題の指示に従った正しい操作が求められます。自己流や何となくではない正しい操作を練習して身につけていきましょう。									

授 業 概 要

科目名	ソーシャルスキルトレーニング (SST)	必修 選択の別	必修選択	開講 区分	前期	担当 教員	市原 郷子		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
・ワークや製作することによって、達成感を味わい、挑戦することの大切ややればできることを体験し主体的に行動することができる ・クラスメートと協力して課題達成することによって、助けあう気持ちを感じ、周りの状況を見ることができる ・グループワークを通して他者へ与える影響を体験し、自発的に行動することができる ・自分の気持ちや意見を表現することを通して相手を知ることができる ・社会人としてのマナー、ルール等を知る									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
大企業人事部人事課採用業務に従事した経験をもとに企業研修や大学、高校、専門学校、障害者施設等で登壇している講師が、相手が何を求め、何をしたいと望んでいるのか推察し、その気持ちに寄り添い伝えるために行動する具体的なことを体験する授業内容を行う。実践を繰り返すことで主体的に行動できる対応力を身につけるように演習を繰り返す。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
配布プリント					人と接する際は、相手への心配り、目配り、気配りを意識して相手の気持ちを考えられるように人間関係を構築してほしい				
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業単元】 オリエンテーション ・講師自己紹介・クラスの仲間を知る			9	【授業単元】 表現力をつけるトレーニング				
	【到達目標】 ・自分自身を紹介するために好きなことや得意なこと、やりたいことなどをまとめることができる ・自分の紹介したいことを言葉にして伝えることができる ・クラスの仲間の自己紹介を聞いて受容することができる				【到達目標】 ・喜怒哀楽の表現方法を知る ・毎日できるトレーニングを覚える ・笑顔トレーニング				
2	【授業単元】 ハートビーイング(ことばのつかいかた) ・GoodワードとBadワード GoodアクションとBadアクション)			10	【授業単元】 表現力練習 滑舌練習①				
	【到達目標】 ・かけられてうれしいことばとそうではないことばとは何かを知る ・されてうれしい行動とそうではない行動とは何かを知る ・生活する中で自分が使おうと思うことばと積極的にしようと思う行動を明確にする				【到達目標】 ・相手にわかりやすく伝える外的要因を知る 声のトーン・声に強弱をつける・速さ・間の撮り方を体験する				
3	【授業単元】 創造力、想像力、ユーモア力、考える力をつけるワーク①			11	【授業単元】 創造力、想像力、ユーモア力、考える力をつけるワーク③				
	【到達目標】 ・想像して語ることができる ・正解ではなく自分の中の答えを出すために考えることができる ・クラスメイトと情報を共有することができる				【到達目標】 ・グループの仲間と情報を共有できる ・自分の意見、考えを言葉にして伝えることができる ・相手の意見、考えを受容できる				
4	【授業単元】 創造力、想像力、ユーモア力、考える力をつけるワーク②			12	【授業単元】 表現力練習 滑舌練習② ※声に表情をつける				
	【到達目標】 ・課題達成にむけて協力することができる ・自分の意見を言うことができる ・他者の意見を受け入れることができる				【到達目標】 相手に伝わる話の仕方を知る ・状況にあったことばの使い方 ・ノンバーバルコミュニケーションを体験する				
5	【授業単元】 ことばの使い方ワーク			13	【授業単元】 創造力、想像力、ユーモア力、考える力をつけるワーク④				
	【到達目標】 ・質問力とは何かを知る ・自分の答えを早く出すための質問に仕方を学ぶ				【到達目標】 ・PDCAの仕組みがわかる ・目標を立てることができる				
6	【授業単元】 創造力、想像力、考える力、達成感を味わうワーク(折り紙)			14	【授業単元】 創造力、想像力、ユーモア力、考える力をつけるワーク⑤				
	【到達目標】 ・知っていることを教えることができる ・教えてもらったことを理解して折ることができる				【到達目標】 ・協力して課題を達成することができる ・グループの仲間の様子に気づくことができる				
7	【授業単元】 協力ワーク(全員で一つの事をやる)			15	【授業単元】 定期試験				
	【到達目標】 ・全員でいま、ここでやっていることを楽しむことができる ・他者と協力する ・自分の意見を言う ・他者の意見を聞く(受容することができる)				【到達目標】 ・自分の考えを言葉にして表現することができる				
8	【授業単元】 中テスト			【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験えん60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験または実技試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切り上げとする。					
	【到達目標】 ・質問に対しての自分の答えを見出すことができる								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
気づく→考える→行動することを意識する 相手につたわるあいさつをする									

授業概要

科目名	ソーシャルトレーニング(SST)	必修 選択の別	必修選択	開講 区分	後期	担当 教員	市原 郷子		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
・ワークや製作することによって、達成感を味わい、挑戦することの大切ややればできることを体験し主体的に行動することができる ・クラスメートと協力して課題達成することによって、助けあう気持ちを感じ、周りの状況を見ることができる ・グループワークを通して他者へ与える影響を体験し、自発的に行動することができる ・自分の考えや意見を表現することができ、相手の考えや意見を否定せずに受け入れることができる ・社会人としてのマナー、ルール等を知り実践することができる									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
大企業人事部門人事課採用業務に従事した経験をもとに企業研修や大学、高校、専門学校、障害者施設等で登壇している講師が、相手が何を求め、何をしたいと望んでいるのか推察し、その気持ちに寄り添い応えるために行動する具体的なことを体験する授業内容を行う。実践を繰り返すことで主体的に行動できる対応力を身につけるように演習を繰り返す。									
【使用教科書・教材・参考図書】									
配布プリント				社会人として相手への心配り、目配り、気配りを意識して状況把握し、「気づく」「考える」「行動する」を習慣化してほしい					
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業単元】 後期の目標設定			9	【授業単元】 コンセンサス(合意形成)ワーク①				
	【到達目標】 ・目標をたてることができる ・その中でやることを具体的に考え言葉にすることができる ・決められた時間の中でやり切る				【到達目標】 ・公平なグループ分けができる ・誰とでも即協力することができる ・協力、応援を通して関わるることができる				
2	【授業単元】 自分の考えを瞬時にことばにして伝える① ・状況を判断して正解ではないが自分の考えをことばにすることができる			10	【授業単元】 協力ワーク① ・自分の意見をいうことができる・他者の意見を受け入れることができる				
	【到達目標】 ・自分の趣味、特技を明確にできる ・相手に伝わる話し方の手法を知る ・他者の考え、意見を受け入れる				【到達目標】 ・会を盛り上げ、全員が関われることを考えることができる ・計画書を作成することができる ・振り返りを行い継続していくこと、改善することを明確にできる				
3	【授業単元】 自分の考えを瞬時にことばにして伝える② ・状況を判断して正解ではないが自分の考えをことばにすることができる			11	【授業単元】 協力ワーク② ・自分の意見をいうことができる・他者の意見を受け入れることができる				
	【到達目標】 ・自分の考えをことばにできる ・状況を判断して正解ではないが自分の考えをことばにすることができる ・相手のことばを理解することができる				【到達目標】 ・社会人としてどう関わるかを体験する ・指示を的確に受け取りメモをとる ・指示を理解し行動する				
4	【授業単元】 気づいて考えて行動する① ・自分の意見を言う、相手の意見を聞く			12	【授業単元】 コミュニケーショングループワーク① ・相手に伝わる伝え方を体験する				
	【到達目標】 ・状況を把握できる ・自分の意見を言う、相手の意見を聞く ・客観的にみることを体験する				【到達目標】 ・自分の考え、意見をもつ ・指示を的確に受け取りメモをとる ・指示を理解し行動する				
5	【授業単元】 指示の受け方① ・指示を的確に受け取りメモをとる			13	【授業単元】 コミュニケーショングループワーク② ・人間関係を構築する関わり方を体験する				
	【到達目標】 ・指示を的確に受け取りメモをとる ・指示に対しての確認、または質問ができる ・指示を理解し行動する				【到達目標】 ・全員との関わりを意識する ・指示を的確に受け取りメモをとる ・指示を理解し行動する				
6	【授業単元】 主体的に関わるグループワーク①			14	【授業単元】 コミュニケーショングループワーク③ ・人間関係を良好にする関わり方を体験する				
	【到達目標】 ・グループでの話し合いに積極的に参加できる ・提案することができる ・情報を共有することができる				【到達目標】 ・PDCAを意識する ・状況を見て行動することができる ・タイムマネジメントを体験する				
7	【授業単元】 主体的に関わるグループワーク②			15	【授業単元】 定期試験				
	【到達目標】 ・状況を把握することができる ・自分の考え、意見を伝えることができる ・課題達成に向けて関わる				【到達目標】 ・1年を振り返り今後の目標、課題を考える				
8	【授業単元】 中テスト			【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験えん60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験または実技試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切り上げとする。					
	【到達目標】 ・質問に対しての自分の答えを見出すことができる								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
気づく→考える→行動することを意識する 挨拶をする									

授業概要

科目名	コミュニケーションと情報デザイン	必修 選択の別	必修選択	開講 区分	通年(前期)	担当 教員	稲田竜馬		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
PCの文字入力やファイル・フォルダの管理など、基礎的な機能が使用可能になる。 Zoom,Slack,Teamsのチャット、ビデオ通話の機能が使用可能になる。 オンラインで課題の提出をスムーズに行うことができるようになる。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
ITエンジニアとして4年、IT講師として3年の実務経験を持つ教員が、 課題形式で実際にPCの操作を行ってもらい、機能を1つずつ習得していくことを重視しつつ授業を行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
Zoom・Slack・Teams テレワークに役立つ教科書(岡田真一)SBクリエイティブ ・講師作成のスライド					毎週の課題で学んだ機能を積極的に活用し、効率的にPCを使用する。 講義内で終了しなかった課題に取り組み、講義内容を復習する。				
コマ	授業計画			コマ	授業計画				
1	【授業単元】 オリエンテーション	【到達目標】 講義全体を通しての目標、身に付ける技術の 具体的な内容が説明できる。			9	【授業単元】 Slackの基本	【到達目標】 Slackの導入ができる。 ワークスペースの作成、参加方法機能が使用できる。		
2	【授業単元】 講義で活用するTeamsの機能	【到達目標】 Teamsの導入ができる。 Teamsでチームにアクセスし、課題を確認して添付を付けて提出し、提出状況を確認できる。 PCでスクリーンショットを撮影し、保存先を確認して画像を開く機能が使用できる。			10	【授業単元】 Slackのチャンネル	【到達目標】 Slackのチャンネル作成・削除機能が使用できる。 Slackのチャンネルの設定変更方法が説明できる。		
3	【授業単元】 文字入力・ファイルとフォルダの扱い方	【到達目標】 日本語入力および英数字・記号の切り替え機能が使用できる。 ファイルを所定の場所に保存し、フォルダを作成して整理する機能が使用できる。 指定されたファイル名でファイルを保存してTeamsに添付提出できる。			11	【授業単元】 Slackのチャット・応用	【到達目標】 Slackのチャットが使用できる。メンション機能の概念が説明できる。 Slackの通話機能の使用方法が説明できる。		
4	【授業単元】 セキュリティ基礎	【到達目標】 パスワードの使い回しを避けるための運用設定をした上で自分の端末 が使用できる。フィッシングや使い回し、短いパスワードの使用によるリ スクと対応策が説明できる。			12	【授業単元】 ZOOMの基本	【到達目標】 Zoomの導入ができる。 Zoomを用いたビデオ会議を開催、参加する機能が使用できる。		
5	【授業単元】 Teamsの基本	【到達目標】 Teamsのチームの作成・削除機能が使用できる。 Teamsのチームの編集機能の概要が説明できる。			13	【授業単元】 Zoomの設定	【到達目標】 マイクやカメラをZoomで使用できる。 カメラ背景やアカウントのプロフィールの設定方法が説明できる。		
6	【授業単元】 Teamsのチャット	【到達目標】 Teams上でのメッセージ機能が使用できる。 Teamsのメンション機能、ファイル送信機能の概要が説明できる。			14	【授業単元】 Zoomの応用	【到達目標】 Zoom会議内で画面共有、会議の録画機能が使用できる。 参加者の権限変更方法が説明できる。		
7	【授業単元】 Teamsの通話	【到達目標】 Teams上でのビデオ会議を使用し会議を開催、参加ができる。 ビデオ会議中の背景の変更、会議の録画、画面の共有機能の概要が 説明できる。			15	【授業単元】 定期試験	【到達目標】 Zoom,Teams,Slackの各機能に共通する部分、異なる部分がそれぞれ説 明できる。 各ツールのチャット、通話機能の使用方法を説明できる。		
8	【授業単元】 中間試験	【到達目標】 Teamsのチャット、通話、課題機能の使用方法を説明できる。			【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、各回の小テスト40%の配分で総合し、AからFの 6段階で評価を行う。 毎回授業の小テストは5点満点、中テスト(8回で実施)は15点満点とする。 その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合 は、小数点以下は切上げとする。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
毎回PCを必ず利用するため、忘れないように準備をしてください。									

授業概要

科目名	コミュニケーションと情報デザイン	必修 選択の別	必修選択	開講 区分	通年(後期)	担当 教員	稲田竜馬		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
PCの文字入力やファイル・フォルダの管理など、基礎的な機能が使用可能になる。 Zoom,Slack,Teamsのチャット、ビデオ通話の機能が使用可能になる。 オンラインで課題の提出をスムーズに行うことができるようになる。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
ITエンジニアとして4年、IT講師として3年の実務経験を持つ教員が、 課題形式で実際にPCで操作を行ってもらい、機能やマナー、それに伴う理念を1つずつ習得していくことを重視しつつ授業を行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
仕事の基本 正しいビジネスメールの書き方(西出ひろ子)日本能率協会マネジメントセンター 講師作成のスライド					講義内で終了しなかった課題に取り組み、講義内容を復習する。 日頃のコミュニケーションに、講義内で学んだ敬語やマナーを取り入れる。				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】	オリエンテーション・メール入門			9	【授業単元】	メールマナー(問い合わせ・依頼)		
	【到達目標】	講義全体を通しての目標、身に付ける技術の具体的な内容が説明できる。 メールの受信内容の確認、新規メールの送信機能が使用できる。返信機能、送付機能の違いが説明できる。				【到達目標】	送信相手にとって内容がわかりやすい問い合わせや依頼メールが作成できる。		
2	【授業単元】	メールの宛先			10	【授業単元】	メールマナーの確認(中テスト)		
	【到達目標】	To/CC/BCCを使い分けることができる。 誤送信を防ぐための宛先確認の方法を説明できる。				【到達目標】	これまで学んできたシチュエーションごとのメールマナーを説明できる。		
3	【授業単元】	メールの本文・署名			11	【授業単元】	チャット・オンライン会議のマナー		
	【到達目標】	件名・本文・署名を名乗り→要件→期限→結びの型で作成できる。				【到達目標】	メールでのマナーとチャットでのマナーの違いを意識したチャットが作成できる。 リアクション、メンション機能を適切に使用できる。 オンライン会議時の入退室、発言時などに所定のマナーに沿った行動を説明できる。		
4	【授業単元】	メールの添付			12	【授業単元】	SNSでのリスク		
	【到達目標】	メールにファイルを添付する機能を使用できる。 ファイル名を適切に変更した上でファイルを添付することができる。				【到達目標】	SNSの投稿から個人情報が漏洩する例を挙げながら、個人情報リスクに関して説明できる。		
5	【授業単元】	メールマナー基礎			13	【授業単元】	最終発表準備		
	【到達目標】	読みやすいメールのレイアウトでメールが作成できる。 メールで間違いやすい敬語表現の正しい表現が説明できる。				【到達目標】	講義内で学んだことを自身のコミュニケーションのルール・目標に関係づける。自身のコミュニケーションのルール・目標の発表を行うために内容を具体的に述べることができる。		
6	【授業単元】	メールに関するミスの対応			14	【授業単元】	最終発表(中テスト)		
	【到達目標】	誤送信、返信忘れなど、 メールに関するミスに対して正確に対応できる。				【到達目標】	自分の発表内容と他者の発表内容を比較し、自分のルール・目標の修正点を指摘できる。 自分のルール・目標を改良した理由を説明できる。		
7	【授業単元】	メールマナー(お礼・お祝い)			15	【授業単元】	定期試験		
	【到達目標】	お礼・お祝いのメールを正しい内容、 正しいタイミングで送ることができる。				【到達目標】	メールの送受信の方法、ビジネスメールを送信する際、マナーを守った文章を作成する上で意識すべき点を説明できる。		
8	【授業単元】	メールマナー(謝罪・挨拶)				【成績評価の方法と基準】			
	【到達目標】	謝罪・挨拶のメールを自分の気持ちが伝わりやすい内容で送ることができる。				科目の評価は、定期試験60%、各回の授業の小テスト40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 毎回授業の小テストは5点満点、中テスト(10回と14回で実施)は10点満点とする。 その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。			
【履修に当たっての心構え・留意点】									
毎回PCを必ず利用するため、忘れないように準備をしてください。									

授業概要

科目名	自己表現講座	必修 選択の別	必修選択	開講 区分	前期	担当 教員	関根凌子		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
学校生活や社会生活の中でコミュニケーションを円滑にする多角的な自己表現力を養う。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
幼児から高齢者の造形活動について指導を行う教員が基礎的な造形の知識技術の修得と個性を活かした表現が出来る授業を行う									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
折り紙、色画用紙、はさみや糊など道具 その他活動に必要な道具・PCかタブレット端末					製作物の折り紙やはさみなど道具準備 テーマを考えてくる				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 ・授業の意義や目的について理解する ・それぞれの表現がいかされた作品の制作と発表を理解する。 ・自分史を制作する 貼り絵 【到達目標】 ・制作に必要な準備ができる ・貼り絵を制作する事が出来る ・制作を通じて自己や他者の理解を深める事が出来る。 ・授業内容を理解し半期の計画を立てる事が出来る。。				9	【授業単元】 プレゼントの制作① フェルトの制作 葉の制作 【到達目標】 ・フェルトの特性を理解して制作し作品を完成させる事が出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。			
2	【授業単元】 ・伝承遊び 折り紙 手裏剣 駒 はばたく鳥 ・基本的な折り方と記号を理解する。 ・作品鑑賞 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・折り紙の歴史を知る事が出来る。 ・基本的な折り方と遊び方を理解する事が出来る ・個を活かした手裏剣を提出できる。				10	【授業単元】 ・プレゼントの制作② 飛び出すカードの制作 ・気持ちを伝え表す造形的方法 基本的な折り方 ①平行折り クリスマスカード 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることができる ・個を活かした飛び出すカードを提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。			
3	【授業単元】 切り絵制作 ・切り絵の制作の仕方を理解する事が出来る ・それぞれの個性を活かした作品を制作する 【到達目標】 季節を考えた制作をする事が出来る ・道具の使い方を理解し制作する事が出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。				11	【授業単元】 ・プレゼントの制作③ 感謝カードの制作 1年の感謝カードを贈る ・作品鑑賞 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることができる ・個を活かした飛び出すカードを提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。			
4	【授業単元】 カレンダー制作(1年カレンダー) ・それぞれの季節を考えた制作をする 【到達目標】 自分らしさを考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方が理解し折る事が出来る ・工夫した点を発表出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。				12	【授業単元】 ・陶芸①(箸置き) ・制作方法を理解し制作する 【到達目標】 ・陶芸の制作の仕方が理解出来る ・個を活かした表現が出来る ・それぞれの個性に共感し自分との違いを感じることが出来る			
5	【授業単元】 ・ボタンを使った制作する 小物入れを飾る 【到達目標】 個性を活かした制作をする事が出来る ・ボタンの付け方を理解する事が出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。				13	【授業単元】 ・絵手紙 身近なものを描く ・感じた事を言葉にする ・作品鑑賞 ・制作の感想をまとめる 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な絵の具絵筆の使い方が理解できる ・個を活かした絵手紙を提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。			
6	【授業単元】 ・水を使った制作・染め紙・マープリング・パテック 【到達目標】 ・自分らしさを考えた制作をする事が出来る ・技法のやり方が理解出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。				14	【授業単元】 陶芸② 釉薬をかける 仕上げ 【到達目標】 ・陶芸の制作の仕上げが理解出来る ・個を活かした表現が出来る ・それぞれの個性に共感し自分との違いを感じることが出来る			
7	【授業単元】 共同制作 ローラーや体を使った表現 【到達目標】 ・道具や手などを使った表現を理解する事が出来る ・心身の解放を感じることが出来る・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。				15	【授業単元】 定期試験 絵手紙 私の好きなものを発表する ・作品鑑賞 ・制作の感想をまとめる 【到達目標】 自らが考えた、発見した事や工夫した事を発表出来る 仲間の制作に共感し共有する事が出来る。 自分らしさ。仲間の表現を認めより深い表現が出来る点を具体的に活かせるように制作のまとめをする。			
8	【授業単元】 中テスト 写真や新聞技法を使ったら表現遊び コラージュまたは、折り紙 【到達目標】 ・コラージュを理解する事が出来る ・自分らしく考えた事を表現出来る ・テーマを発表し工夫した点に共感したり考察が出来る。				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
提出物は期限を守る事。									

授業概要

科目名	生成AI実習	必修 選択の別	必修選択	開講 区分	後期	担当 教員	株式会社グッドワークス 野中和也		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
本授業では、生成AIの仕組みおよび活用方法を理解するとともに、利用に伴うリスクや注意点を正しく認識することを目指す。 その上で、目的に応じた適切な指示（プロンプト）を設計し、生成AIを効果的に活用できる力を身に付ける。 また、生成AIを活用した試行錯誤型の開発手法（いわゆるパイプコーディング）を体験し、AIと協働しながら成果物を作成できる状態に到達することを目指す。									
【学習内容】（どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する）									
本授業は、ネットワークエンジニアとして3年間の実務経験を有し、企業・教育機関向けに生成AI活用研修の登壇実績を持つ教員が担当する。実務および研修での活用事例を踏まえ、生成AIの実践的な利用方法を学ぶ。授業では実際に生成AI(ChatGPT等)を使用しながら進捗し、プロンプト設計、文章生成、情報整理、プログラム生成などを体験的に学習する。あわせて、誤情報生成や情報漏えいなどのリスクや注意点についても具体例を通して理解する。単なる操作方法の習得ではなく、目的に応じてAIを適切に活用する力を養う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
配布プリント					生成AIは実際に活用することで理解が深まるため、授業外でも積極的に利用することを推奨する。文章作成や調査、プログラム生成などを通じて操作に慣れ、出力内容の妥当性を確認する習慣を身に付けること。				
コマ	授業計画			コマ	授業計画				
1	【授業単元】 生成AIとは何か				9	【授業単元】 学習支援・調査活用			
	【到達目標】 生成AIの概要と活用分野を説明できる。					【到達目標】 学習や情報収集に生成AIを活用できる。			
2	【授業単元】 生成AIの仕組み				10	【授業単元】 画像生成AIの基礎(概要)			
	【到達目標】 大規模言語モデルの基本的な仕組みを理解する。					【到達目標】 画像生成AIの特徴を理解する。			
3	【授業単元】 生成AIのリスクと注意点				11	【授業単元】 プログラム生成①			
	【到達目標】 生成AIのリスクを説明できる。					【到達目標】 簡単なコードを生成し、実行できる。			
4	【授業単元】 プロンプト設計の基礎				12	【授業単元】 プログラム生成②			
	【到達目標】 目的に応じた基本的なプロンプトを作成できる。					【到達目標】 生成AIを活用して簡単なツールを作成できる。			
5	【授業単元】 文章作成①(メール作成)				13	【授業単元】 パイプコーディング①			
	【到達目標】 ビジネスメールを生成AIで作成できる。					【到達目標】 生成AIと対話しながら小規模アプリを構築できる。			
6	【授業単元】 文章作成②(報告書作成)				14	【授業単元】 パイプコーディング②(成果物作成)			
	【到達目標】 構造化された報告書を作成できる。					【到達目標】 AIと協働して簡単な成果物を完成させることができる。			
7	【授業単元】 情報整理と要約				15	【授業単元】 定期テスト			
	【到達目標】 長文を要約・整理できる。					【到達目標】 生成AIの基礎理解および活用能力を確認する。			
8	【授業単元】 アイデア発想と企画支援				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。				
	【到達目標】 生成AIを用いて企画案を作成できる。								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
本授業では生成AI(ChatGPT)を使用するため、利用環境を整えておくこと。生成AIは有用なツールであるが、出力内容を鵜呑みにせず、正確性や妥当性を確認する姿勢を持つこと。個人情報や機密情報の入力を行わないなど、適切な利用を心掛けること。									

授 業 概 要

科目名	エクササイズ & レクリエーション	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	金松 和		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
将来、働き続けるために体の使い方等などの様々な運動を知ると共にレクリエーションを通して人と協働する方法を知る									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
私は民間スポーツクラブにて10年ほど勤務し、その後、大学・高校などの部活動でトレーナー活動を行っています。健康であることは体にどのような良いことがあるかを知ってもらえる授業を行っていきたいです。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
配布資料					授業時間外では普段の歩き方、立ち方に注意しましょう。猫背・反り腰は腰痛や肩凝りを起こします。				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 座学：体を動かす楽しさ・大切さとは 実技：レクリエーション				9	【授業単元】 座学・実技：ロコモ度チェックをやってみよう！			
	【到達目標】 座学：体を動かす楽しさ・大切さを理解し、文章にすることができる。 実技：レクリエーションを通じて体を動かす楽しさを感じることができる。					【到達目標】 ロコモ度チェックの必要性・測定項目・実施方法・評価方法を理解し、実践できる。			
2	【授業単元】 座学：個人スポーツと団体スポーツの違いを考えよう！ 実技：レクリエーション				10	【授業単元】 座学・実技：ロコモ度チェックをやってみよう！			
	【到達目標】 座学：個人スポーツと団体スポーツのそれぞれの良い点が分かる。 実技：レクリエーションを通じて体の動かす楽しさを感じることができる					【到達目標】 ロコモ度チェックの必要性・測定項目・実施方法・評価方法を理解し、実践できる。			
3	【授業単元】 座学：規則正しい生活って何が良い？ 実技：風船バレーをやってみよう！				11	【授業単元】 座学・実技：ストレッチで健康な体になろう！			
	【到達目標】 座学：規則正しい生活を理解し、文章にすることができる。 実技：みんなで風船バレーを楽しくできる。					【到達目標】 ストレッチの注意点を理解でき、ストレッチの動作を3つ正しい姿勢で実践できる。			
4	【授業単元】 座学：規則正しい生活って何が良い？～睡眠編～ 実技：脳トレ！をやってみよう！				12	【授業単元】 座学・実技：ストレッチで健康な体になろう！			
	【到達目標】 座学：規則正しい生活の為に睡眠の大切さを理解し、文章にすることができる。 実技：脳トレ！を実践し、楽しくできる。					【到達目標】 1日10分、ストレッチを実践して体の変化に3つ挙げることができる。			
5	【授業単元】 座学：規則正しい生活って何が良い？～運動編～ 実技：筋トレをやってみよう！				13	【授業単元】 座学・実技：たくさん歩いて健康な体になろう！			
	【到達目標】 座学：規則正しい生活の為に運動の大切さを理解し、文章にすることができる。 実技：筋トレを実践し、大切さを感じることができる。					【到達目標】 正しい歩き方(姿勢・歩幅など)を理解でき、実践することができる。			
6	【授業単元】 座学・実技：バラスポーツ(ポッチャ)をやってみよう！				14	【授業単元】 座学・実技：たくさん歩いて健康な体になろう！			
	【到達目標】 バラスポーツ(ポッチャ)のルールを理解し、みんなで楽しく実践できる。					【到達目標】 1日8,000歩、歩いて体の変化を3つ挙げることができる。			
7	【授業単元】 実技：バラスポーツ(ポッチャ)をやってみよう！				15	【授業単元】 座学：振り返り 試験：グループワーク			
	【到達目標】 バラスポーツ(ポッチャ)をみんなで協力しながら、楽しく実践できる。					【到達目標】 今までの授業を振り返り、運動がもたらす体の変化を理解し、どうしたら継続できるかをグループで話し合い、発表することができる。			
8	【授業単元】 運動を考えてみましょう！				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。				
	【到達目標】 みんなが楽しくできる運動を考え、発表できる。								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
積極的に行動しましょう。									

授 業 概 要

科目名	エクササイズ & レクリエーション	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	金松 和		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
将来、働き続けるために体の使い方等などの様々な運動を知ると共にレクリエーションを通して人と協働する方法を知る									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
私は民間スポーツクラブにて10年ほど勤務し、その後、大学・高校などの部活動でトレーナー活動を行っています。健康であることは体にどのような良いことがあるかを知ってもらえる授業を行っていきたいです。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
配布資料					授業時間外では普段の歩き方、立ち方に注意しましょう。猫背・反り腰は腰痛や肩凝りを起こします。				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 座学・実技：上半身がしっかり、すっきりする筋力トレーニングをやってみよう！				9	【授業単元】 座学・実技：肥満を予防しよう！			
	【到達目標】 筋力トレーニングの注意点を理解でき、上半身の筋力トレーニングを3パターン正しい姿勢で実践できる。					【到達目標】 肥満について原因、判断基準、改善方法を理解し、ヒトに伝えることができる。			
2	【授業単元】 座学・実技：お腹周りがしっかり、すっきりする筋力トレーニングをやってみよう！				10	【授業単元】 座学・実技：高血圧を予防しよう！			
	【到達目標】 筋力トレーニングの注意点を理解でき、体幹の筋力トレーニングを3パターン正しい姿勢で実践できる。					【到達目標】 高血圧について原因、判断基準、改善方法を理解し、ヒトに伝えることができる。			
3	【授業単元】 座学・実技：下半身がしっかり、すっきりする筋力トレーニングをやってみよう！				11	【授業単元】 正しい痩せ方を理解し、実践しよう！			
	【到達目標】 筋力トレーニングの注意点を理解でき、下半身の筋力トレーニングを3パターン正しい姿勢で実践できる。					【到達目標】 正しい痩せ方の為の過ごし方を理解することができる			
4	【授業単元】 座学・実技：肩凝りを知ろう！				12	【授業単元】 正しい痩せ方を理解し、実践しよう！			
	【到達目標】 肩凝りについて原因と改善方法を理解し、ヒトに伝えることができる。					【到達目標】 正しい痩せ方の為の食事方法を理解することができる			
5	【授業単元】 座学・実技：肩凝りを知ろう！				13	【授業単元】 正しい痩せ方を理解し、実践しよう！			
	【到達目標】 肩凝りについて原因と改善方法を理解し、ヒトに伝えることができる。					【到達目標】 正しい痩せ方の為の運動方法を理解することができる			
6	【授業単元】 座学・実技：腰痛を知ろう！				14	【授業単元】 こむら返りを理解し、予防しよう！			
	【到達目標】 腰痛について原因と改善方法を理解し、ヒトに伝えることができる。					【到達目標】 こむら返りについて原因と改善方法を理解することが出来る。			
7	【授業単元】 座学・実技：腰痛を知ろう！				15	【授業単元】 座学：振り返り 試験：グループワーク			
	【到達目標】 腰痛について原因と改善方法を理解し、ヒトに伝えることができる。					【到達目標】 今までの授業を振り返り、身に着けた体力を発揮できる。			
8	【授業単元】 テーマに合った運動を考えてみましょう！				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 また、試験は筆記試験で行う。 毎回授業の小テストは、各回5点満点とし、中テスト(8回目授業で実施)は15点満点とする。その合計の1/2の点数を小テストの合計点とする。その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。				
	【到達目標】 テーマに対して適切な運動を考え、発表できる。								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
積極的に行動しましょう。									

授 業 概 要

科目名	ライフスキルトレーニング	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	柴田 みほ、後藤 敏子、百瀬 留美 SMBCコンシューマーファイナンス
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	2 単位 総時間数 60 時間
【授業を通じての到達目標】							
<調理>安全に配慮し、基本的な調理スキルを身に着けると共に、調理を通じて食事の大切さを知る。またクラスメイトと協力しながら不得意なことにも挑戦し、料理を完成させることで自信につなげていく。 <家政>生活に必要な家事技術、能力を楽しみながら向上させ、将来の自立にむけてクラスメイトと協力し、自信につなげていく。							
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)							
<調理>生活文化学科を卒業、衣食住や福祉、保育などに関する知識や技術を学ぶ。実習では調理や食事の楽しさ、誰かにおいしいと言ってもらう嬉しさを体感していきます。 <家政>歯科衛生士として大学病院勤務、臨床、教育、行政に携わりながら、家庭訪問型保育者としても、様々な子供や好き発見講座での学生と関わるなかで、健康と生活の大切さを実践的に学びライフハックも取り入れながら学習しましょう							
【使用教科書・教材・参考図書】				【授業時間外における学習】			
<調理>新しい家庭5・6(東京書籍)／料理のきほん練習帳／プリント <家政>新しい家庭5・6(東京書籍)				<調理>食事の際に栄養面に気を配ろう！実習で習った料理を作ってみよう！ <家政>学習したライフハックを自宅でも試してみる			
コマ	授業計画			コマ	授業計画		
1.2	【授業単元】 オリエンテーション			17・18	【授業単元】 <家政4>掃除について考えよう。掃除の仕方を学ぶ 小テスト		
	【到達目標】 この単元で行う内容をシラバスを中心に理解し、各項目で実施する内容と教室の確認をする。				【到達目標】 清掃に関心を持ち、場所や汚れに応じた掃除方法、掃除用具、洗剤の種類を知る		
3・4	【授業単元】 <調理1>調理実習の際の準備と流れを覚えよう 実習:おにぎり・味噌汁・卵焼き／小テスト			19・20	【授業単元】 <調理5>麺料理に挑戦！ 実習:ワンパンパスタ料理・フルーツポンチ 定期試験(20点)		
	【到達目標】 ・衛生面について知る(手洗い、身支度の必要性) ・調理実習室の使い方を学び、準備から片付けまでの流れを知る ・調理用具を知り、実際に使用して調理を行う				【到達目標】 ・麺の調理方法と注意点を覚える		
5・6	【授業単元】 <家政1>針と糸の使い方を学ぼう 小テスト			21・22	【授業単元】 <家政5>SDGSについて考えよう 定期試験(20点)		
	【到達目標】 並縫いを中心に他の縫い方・ボタン付けを通して衣服の緊急対応に役立てるとともに、推しを作成し日常生活に役立てるように実習を行う				【到達目標】 家政で学んできたことの中で、SDGSにつながることをみんなで探して、発表しよう		
7・8	【授業単元】 <調理2>いろいろな調理方法(切る・煮る・ゆでる)を知ろう 実習:ごはん、汁物、肉じゃが、ほうれん草のおひたし／小テスト			23・24	【授業単元】 【健康】健康診断の結果から自身の健康を考える。歯ブラシやその他の口腔清掃用具を使用した正しいブラッシング技術を実践し、効果的な口腔内清掃方法を身につける。 /小テスト4点、定期試験10点		
	【到達目標】 ・包丁の使い方、注意点を覚える ・切り方の種類、料理に適した食材の切り方を知る ・いろいろな調理方法を学び、実習で使ってみる				【到達目標】 口腔内の健康が全身の健康に与える影響を理解し、日常生活における口腔ケアの重要性を認識する。		
9・10	【授業単元】 <家政2>家政の意味を知ろう(家事とは?) 日常生活の中の家事の種類を知る。 小テスト			25・26	【授業単元】 お金の使い方や管理の基本を学び、日常生活での判断力を高めることで賢い選択ができるようになる。金融に関する知識を深め、金融商品やサービスを正しく利用できるようになる。金融リテラシー検定の申し込みを実施し受験する。/小テスト		
	【到達目標】 日常生活がすべての活動の土台であることを確認し、生活をしていく力を身に付ける必要があることを知る				【到達目標】 金融リテラシーの基本を理解し、自立した社会人として必要な生活力を身につける。 金融リテラシー検定の受験申込と受験を実行できるようにする。		
11・12	【授業単元】 <調理3>五大栄養素を知ろう 実習:ごはん、味噌汁、生巻焼き、サラダ／小テスト			27・28	【授業単元】 ライフプランの大切さを学び具体的な自分の目標を設定する。必要なお金を計画する方法を学び、家計を管理するための基本的な知識や毎月の予算を作る方法についても学びます。/小テスト		
	【到達目標】 ・五大栄養素とはなにかを学ぶ ・献立作りと栄養素の関係を知る ・自分の食事内容を五大栄養素に当てはめてみる				【到達目標】 ライフプランの重要性を理解し、具体的な目標設定や資金計画を立てる能力を身につける。また、家計管理の基本を学び、実生活に役立てることができる。		
13・14	【授業単元】 <家政3>洗濯について考えよう 小テスト			29・30	【授業単元】 将来の夢を実現するための準備ができるようにするためのライフプランを具体的にまとめる。 定期試験(10点)		
	【到達目標】 洗濯の必要性を理解し、洗濯機の使い方、洗濯方法、洗濯マークを理解する				【到達目標】 金融リテラシーと将来のライフプランを立てることで、将来の夢を実現するための準備ができる。		
15・16	【授業単元】 <調理4>行事食を知ろう 実習:ちらし寿司・茶わん蒸し／小テスト			【成績評価の方法と基準】 成績評価:調理、家政、健康、マネー教育を合わせて、定期試験60%、小テスト40%の配分で統合し、6段階評価を行う。 小テストは調理、家政、健康でそれぞれ4点とマネー教育で2点の配点とし合計40点満点で評価する。 定期試験は各項目の最終日に実施し、調理(20点)、家政(20点)、健康(10点)、マネー(10点)で評価する。			
	【到達目標】 ・行事食とは何か学ぶ ・季節ごとの行事食、行事食と旬の食材を知る ・定期試験にむけた復習を行い、理解する						
【履修に当たっての心構え・留意点】							
<調理>食べ物を扱うので、衛生面に注意し、エプロンや三角巾など忘れ物がないようにする。 包丁や火を使用するので説明はしっかりと聞き、疑問点は必ず質問する。家庭で使う用具を知り、その用具を使って楽しんで活動する。出来ることが目的ではなく、楽しんで挑戦してみる。 <家政>日々の成長、生活に役立てるよう繰り返し行いライフスキル能力を身につけよう。							

授 業 概 要

科目名	健康管理能力検定講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	栗原 冬子		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	2 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
①生活リズムや体内時計の働きとしくみを理解することで、健康管理・予防医学の知識を習得しアドバイスや説明ができる。 ②健康管理能力検定3級に合格する。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
健康管理能力検定1級・健康管理士一般指導員資格保持。省庁・自治体・企業などで健康管理に関する講演活動を行っている教員が、栄養・運動・睡眠など基礎的な健康管理と、将来社会人として必要な健康管理に役立てる実践的な知識を学習する授業を行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
健康管理能力検定3級テキスト					授業で習得した知識を実生活で実践し振り返りを行うこと。				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 私たちの体のリズム(テキスト1章2P～8P) 小テスト				9	【授業単元】 ライフステージと体内時計 乳児期(テキスト98p～106p) 小テスト			
	【到達目標】 体内時計の仕組みと働きを学び、その概要を説明できる。					【到達目標】 乳児期の体のリズムや、それに伴う健康管理について学び、その概要を説明できる。			
2	【授業単元】 ホメオスタシスの仕組み(テキスト2章10P～24P) 小テスト				10	【授業単元】 ライフステージと体内時計 学童期・青年期(テキスト107p～115p) 小テスト			
	【到達目標】 人間の健康を維持しているホメオスタシスの3つの機能(自律神経・内分泌・免疫)の働きについて学び、その概要を説明できる。					【到達目標】 学童期・青年期の体のリズムや、それに伴う健康管理について学び、その概要を説明できる。			
3	【授業単元】 朝のリズム①(テキスト3章26P～40P) 小テスト				11	【授業単元】 ライフステージと体内時計 成人期～高齢期(テキスト116p～131p) 小テスト			
	【到達目標】 体内時計の仕組みをもとに、食事・運動・睡眠の観点から朝をどのように過ごすか健康になるのかを学び、その概要を説明できる。					【到達目標】 成人期～高齢期の体のリズムや、それに伴う健康管理について学び、その概要を説明できる。			
4	【授業単元】 朝のリズム②(テキスト3章41P～55P) 小テスト				12	【授業単元】 健康管理能力検定3級合格対策講座Ⅰ(講座専用資料配布) 小テスト			
	【到達目標】 体内時計の仕組みをもとに、食事・運動・睡眠の観点から朝をどのように過ごすか健康になるのかを学び、その概要を説明できる。					【到達目標】 健康管理能力検定3級合格に向けた対策講座を行い、検定試験合格を目指す。			
5	【授業単元】 昼のリズム(テキスト3章56P～71P) 小テスト				13	【授業単元】 健康管理能力検定3級合格対策講座Ⅱ(講座専用資料配布) 小テスト			
	【到達目標】 体内時計の仕組みをもとに、食事・運動・睡眠の観点から昼をどのように過ごすか健康になるのかを学び、その概要を説明できる。					【到達目標】 健康管理能力検定3級合格に向けた対策講座で検定試験合格を目指す。			
6	【授業単元】 夜のリズム①(テキスト3章72P～81P)【動画授業】 小テスト				14	【授業単元】 前期授業の総復習および試験解答解説 定期試験(択一式試験 時間40分)			
	【到達目標】 体内時計の仕組みをもとに、食事・運動・睡眠の観点から夜をどのように過ごすか健康になるのかを学び、その概要を説明できる。					【到達目標】 検定合格に向けて全てをクリアにすることができる。			
7	【授業単元】 夜のリズム②(テキスト3章82P～95P) 小テスト				15	【授業単元】 合格対策最終確認 健康管理能力検定3級試験(択一式試験 時間40分)			
	【到達目標】 体内時計の仕組みをもとに、食事・運動・睡眠の観点から夜をどのように過ごすか健康になるのかを学び、その概要を説明できる。					【到達目標】 健康管理能力検定3級の内容を理解し、検定に合格する。			
8	【授業単元】 中テスト(択一式試験 時間30分) これまでの授業の振り返りおよび試験解答解説				【成績評価の方法と基準】 科目の評価 【定期試験】(60点) 【小テスト】(各5点×全12回) 【中テスト】(20点) 定期試験 60%、小テスト・中テスト40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 小テスト・中テスト・定期試験は択一式のweb試験で行い、健康管理能力検定試験は登校し、択一式のマークシート試験で行う。小テストと中テストの合計を足して÷2したものと定期試験の合計点からA～Fの6段階で評価する				
	【到達目標】 これまでの授業の振り返りをし、不明な箇所をクリアにする。								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
予習は必要ないが、WEB講座を利用するなど自宅での復習は必須。 健康管理を学ぶとともに、検定試験合格を目指しての学習を意識してもらいたい。									

授業概要

科目名	ビジネスマナー検定講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(前期)	担当 教員	徳岡健男		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
ビジネス(実務)社会に身を置いて働くときの身の処し方(マナー)を学ぶ講座です。ビジネス社会には、その社会を円滑にするための秩序があります。この秩序を知ることがビジネス社会を知ることです。社会人として働くうえで、基本となる行動規範と考え方を学ぶのがこの授業の目標です。単にルールだけを学ぶのではなく、なぜそうなのかを考えながら理解していきます。最終的な到達目標として「ビジネス実務マナー検定3級」の合格を目指します。検定試験前には、ゆっくりと丁寧に問題演習を繰り返します。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
流通業界での実務経験と社会人教育・専門学校教育での教員経験をもつ教員が、ビジネス全般にわたるルールを指導します。									
授業実施後には、仕事をする際の心構えや具体的な場面ごとのあいさつの仕方等、実践に即したマナーが備わる講座です。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
書名:「ビジネス実務マナー検定3級受験ガイド」及び「実問題集」					予習の必要はありませんが、授業後の復習に取り組んでください。				
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業単元】 Ⅰ 必要とされる資質(仕事の能力)			9	【授業単元】 Ⅳ 電話実務(電話対応の注意点をを知る。)				
	【到達目標】 社会人としての資質を考える。(行動力・判断力・表現力) 基礎能力と専門能力の意味を知る。				【到達目標】 電話でのマナーと対応の基本を学ぶ。 明るい印象になるように、聞き取りやすい発声ができる。				
2	【授業単元】 Ⅰ 必要とされる資質(仕事の能力)			10	【授業単元】 Ⅳ 電話実務(場面ごとの電話対応の流れを知る)				
	【到達目標】 執務要件を考える。(協調性と積極的な態度の意味を知る) どのような心構えで仕事に臨むことが大切かを知る。				【到達目標】 電話の取次ぎ方等の基本や、メモの取り方等を学ぶ。 (ロールプレイング・5W1Hを意識してメモがとれる。)				
3	【授業単元】 Ⅱ 企業実務			11	【授業単元】 Ⅴ 技能 (情報と文章についての扱い方)				
	【到達目標】 組織とは何かを考える。協働する必要性を知る。 (一人で出来ないことも多人数だとしてできることがある)				【到達目標】 情報の整理と伝達についての基本知識を学ぶ。 的確かつ正確な文章が仕事のベースとなることを知る。				
4	【授業単元】 Ⅲ 対人関係①(人間関係)			12	【授業単元】 Ⅴ 技能(会議・事務機器・事務用品)				
	【到達目標】 人間関係の要となる要素を知る。 価値観の意味と立場の違いを知る。				【到達目標】 会議に出席するマナー、事務機器・事務用品の基本機能を知る。 機器・備品の取り扱いの注意点を知る。				
5	【授業単元】 Ⅲ 対人関係②(人間関係と仕事)			13	【授業単元】 問題演習(9回目授業から12回目授業までの復習とまとめを確認する。)				
	【到達目標】 良好な人間関係を作ることの大切さを知る。 他者への配慮を学び、ルールを守ることの大切さを考える。				【到達目標】 検定図書の問題の中から「実技 Ⅳ電話実務」「実技 Ⅴ技能」の過去問題を実施し解くことができる。(11問)				
6	【授業単元】 Ⅲ 対人関係③(コミュニケーション)			14	【授業単元】 授業総まとめの問題演習(テキスト全範囲)				
	【到達目標】 丁寧な言葉でわかり易い話し方を学ぶ。 よく使われる敬語を知る(尊敬語・謙譲語)				【到達目標】 同じ問題を2回解いて、2回目の正答率を80%を目標とする。				
7	【授業単元】 問題演習(1回目授業から6回目授業までの復習とまとめを確認する。)			15	【授業単元】 「定期試験」の実施。				
	【到達目標】 検定図書の問題の中から、「理論 Ⅰ必要とされる資質」「理論 Ⅱ企業実務」「実技 Ⅲ対人関係」の過去問題を解いてみる。(19問)				【到達目標】 定期試験は8回目中間試験の問題と14回目授業の問題演習の範囲から出第します。正答率は70%を目標とする。(検定試験では60%で合格となる)				
8	【授業単元】 前回授業の問題演習から定期試験を実施する。			【成績評価の方法と基準】 評価は、授業で行う小テスト(10回×4点＝40点)と定期試験(30点×2＝60点)。合計100点満点で評価する。なお、小テストは授業の1回目、2、3、4、5、6、9、10、11、12回目の授業内で実施する。定期試験は8回目と15回目に実施し、評価は学則の規定に準ずる。					
	【到達目標】 検定図書の過去問題・19問を出題。具体的な正答目標として80%を設定する。								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
積極的に質問をすること。1回の授業で最低1つ質問してみよう。また、授業内で利用する問題は実務マナー検定の過去問題を使用します。授業にはテキストを持参してください。									

授業概要

科目名	ビジネスマナー検定講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(後期)	担当 教員	徳岡健男		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
ビジネス(実務)社会に身を置いて働くときの身の処し方(マナー)を学ぶ講座です。この講座では、前期と同様に到達目標として「ビジネス実務マナー検定3級」の合格を目指します。さらに、この講座ではビジネスの基礎知識として、テキストの実務分野を補う意味で、「ビジネス基礎知識」を学びます。具体的には、「法律の基礎知識」、「社会と政治分野」、「経済分野と国際社会」等です。ビジネス社会で必要となる、社会の仕組み全体の基礎知識が身につく講座です。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
流通業界での実務経験と社会人教育・専門学校教育での教員経験をもつ教員が、ビジネス全般にわたるルールを指導します。									
授業実施後には、仕事をする際の心構えや具体的な場面ごとのあいさつの仕方等、実践に即したマナーや知識が備わる講座です。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
書名:「ビジネス実務マナー検定3級受験ガイド」及び「実問題集」					予習の必要はありませんが、授業後の復習に取り組んでください。				
回	授業計画			回	授業計画				
1	【授業単元】 前期の復習と検定対策演習① 第61回過去問題演習と解説			9	【授業単元】 ビジネス基礎知識④「社会・政治分野」				
	【到達目標】 正答できた問題と間違えた問題を把握する。 間違えた問題を修正して苦手分野を知る。				【到達目標】 いま話題になっている社会問題を知る。 特に、環境問題とその取り組みを理解する。				
2	【授業単元】 前期の復習と検定対策演習② 第62回過去問題演習と解説			10	【授業単元】 ビジネス基礎知識⑤「経済分野」				
	【到達目標】 正答できた問題と間違えた問題を把握する。 間違えた問題を修正して苦手分野を知る。				【到達目標】 私たちの生活の豊かさについて知る。 物差しとして、「GDP・国民総生産」のおおよそを理解する。				
3	【授業単元】 前期の復習と検定対策演習③ 第63回過去問題演習と解説			11	【授業単元】 ビジネス基礎知識⑥「経済分野」				
	【到達目標】 正答できた問題と間違えた問題を把握する。 間違えた問題を修正して苦手分野を知る。				【到達目標】 貿易についての基礎知識を学ぶ。 なぜ貿易が行われるのか。その意味を理解する。				
4	【授業単元】 検定直前対策 第61回～63回までの総まとめ授業			12	【授業単元】 ビジネス基礎知識「経済分野」				
	【到達目標】 正答率の低い問題を重点的に理解する。 特に、「企業実務」の理論分野を整理して理解する。				【到達目標】 物やサービスの生産と消費について知る。 社会の分業の仕組みを理解する。(流通を例として)				
5	【授業単元】 ビジネス基礎知識①「社会・政治分野」			13	【授業単元】 ビジネス基礎知識⑧「労働分野」				
	【到達目標】 日本の国のルールを理解する。 社会のルールの根本を知る。(日本国憲法の概要)				【到達目標】 働くうえで知っておくべきルールとはなにかを知る。 労働基準法のおおよそを理解する。				
6	【授業単元】 ビジネス基礎知識②「社会・政治分野」			14	【授業単元】 ビジネス基礎知識①～⑧までの総まとめ				
	【到達目標】 「基本的人権」とは何かを知る。 互いに尊重しあうための基本的考え方を理解する。				【到達目標】 最終回の期末試験にたいして準備をする。 期末試験の模擬問題を解く。間違えをチェックする。				
7	【授業単元】 ビジネス基礎知識③「社会・政治分野」			15	【授業単元】 「定期試験」の実施。				
	【到達目標】 社会を維持するための仕組みを知る。 三権分立(国会、内閣、裁判所)のおおよそを理解する。				【到達目標】 定期試験は8回目 中間試験の問題と14回目授業の問題演習の範囲から出第します。正答率は70%を目標とする。				
8	【授業単元】 定期試験「ビジネス基礎知識の①～③までのまとめ」			【成績評価の方法と基準】 評価は、授業で行う小テスト(10回×4点＝40点)と定期試験(30点×2＝60点)。合計100点満点で評価する。なお、小テストは授業の1回目、2、3、4、5、6、9、10、11、12回目の授業内で実施する。定期試験は8回目と15回目に実施し、評価は学則の規定に準ずる。					
	【到達目標】 ①～③のまとめをミニテストとして実施し、基礎知識を理解する。								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
積極的に質問をすること。1回の授業で最低1つ質問してみよう。特に、ビジネス基礎知識は簡単な言葉を使いますが、わからない言葉などは積極的に質問してみよう。									

授 業 概 要

科目名	現場総合学習	必修 選択の別	必修選択	開講 区分	前期	担当 教員	久保田 千尋				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	3	単位	総時間数	90	時間
【授業を通じての到達目標】											
課外活動についてPDCAサイクルの手法を用いて自分たちで企画・実施・振り返りを行う											
校外学習（外出）を行う。見学先を自分たちで決め計画をし、実際に見学し、まとめて発表する。この一連の流れを通して、問題発見力や問題解決力を身につけるための準備を行う											
【学習内容】（どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
ワークシート、フォーサイト手帳						フォーサイト手帳を使用し、自分のやるべきことの目標を立て、振り返りをし、実行することが出来る					
授業計画											
・現場総合学習		●全体のオリエンテーション ・現場総合学習の目的目標の確認と自分自身の課題を決めるPDCAサイクルについて学ぶ。 ・グループで活動するために大切なことを考える 1人ではなく、チームで協力するために意識すること、自分がやるべきことを考える 視点を広げ、人と自分の価値観の違いを共有することの大切さを知ることができる目標を立てることができる ●事前学習 グループに分かれ、課外学習先について下調べを行う。グループごと役割や目的を決め、当日行動できるように準備をする ●課外学習（外出見学） 自分達で調べたことや、目標を立てたこと、役割で決めたことを実行することができる そこで見つけた新しい発見や、気になっていることをメモに取ることができる クラスみんなで協力して行い、できたことできなかったことをメモにとることができる ●事後学習（まとめ・発表） 見学したことをまとめて発表することができる。事前学習で実際に決めたことができたかを振り返る。 クラスのメンバーの良かったことをまとめて発表することができる。									
【履修に当たっての心構え・留意点】						【成績評価の方法と基準】					
将来働くために必要な、人と協力する力や、自分自身で考える力を身につけることができるように、自分だけでなく人にも興味を持つように意識する。						6段階評価の対象外科目であるため、出席率とS（合格）とU（不合格）で判断する。 外出見学終了後、まとめのレポートを作成する					

授 業 概 要

科目名	現場総合学習	必修 選択の別	必修選択	開講 区分	後期	担当 教員	久保田 千尋				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	3	単位	総時間数	90	時間
【授業を通じての到達目標】											
課外活動についてPDCAサイクルの手法を用いて自分たちで企画・実施・振り返りを行う 校外学習（外出）を行う。見学先を自分たちで決め計画をし、実際に見学し、まとめて発表する。この一連の流れを通して、問題発見力や問題解決力を身につけるための準備を行う											
【学習内容】（どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業ではグループ学習を行い、将来働いた時に自ら発信する力や仲間と協力することが出来る											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
ワークシート、フォーサイト手帳						フォーサイト手帳を使用し、自分のやるべきことの目標を立て、振り返りをし、実行することが出来る					
授業計画											
・現場総合学習		●前期の振り返り 前期の振り返りをし、後期の目標を立てる ●事前学習 グループに分かれ、課外学習先について下調べを行う。グループごと役割や目的を決め当日行動できるように準備をする ●課外学習（外出見学） 自分達で調べたことや、目標を立てたこと、役割で決めたことを実行することができる そこで見つけた新しい発見や、気になっていることをメモに取ることができる クラスみんなで協力して行い、できたことできなかったことをメモにとることができる ●事後学習（まとめ・発表） 見学したことをまとめて発表することができる。事前学習で実際に決めたことができたかを振り返る。 クラスのメンバーの良かったことをまとめて発表することができる。 ●成果発表会 1年間通じて現場総合学習を経験し、自分のできたこと難しかったこと、今後の課題となることをまとめて発表する 1人ではなく、グループで活動する上で気づいたことや大切なことをまとめることができる 成果発表会の準備や司会進行など自分たちでプログラムから考え行う									
【履修に当たっての心構え・留意点】						【成績評価の方法と基準】					
将来働くために必要な、人と協力する力や、自分自身で考える力を身につけることができるように、自分だけでなく人にも興味を持つよう意識する。						6段階評価の対象外科目であるため、出席率とS（合格）とU（不合格）で判断する。 外出見学終了後、まとめのレポートを作成する					

授 業 概 要

科目名	フィールドワーク	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	久保田 千尋				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	3	単位	総時間数	90	時間
【授業を通じての到達目標】											
課外活動についてPDCAサイクルの手法を用いて自分たちで企画・実施・振り返りを行う 校外学習（外出）を行う。見学先を自分たちで決め計画をし、実際に見学し、まとめて発表する。この一連の流れを通して、問題発見力や問題解決力を身につけるための準備を行う											
【学習内容】（どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
ワークシート、フォーサイト手帳						フォーサイト手帳を使用し、自分のやるべきことの目標を立て、振り返りをし、実行することが出来る					
授業計画											
・現場総合学習		●全体のオリエンテーション ・現場総合学習の目的目標の確認と自分自身の課題を決めるPDCAサイクルについて学ぶ。 ・グループで活動するために大切なことを考える 1人ではなく、チームで協力するために意識すること、自分がやるべきことを考える 視点を広げ、人と自分の価値観の違いを共有することの大切さを知ることをできる目標を立てることができる ●事前学習 グループに分かれ、課外学習先について下調べを行う。グループごと役割や目的を決め、当日行動できるように準備する ●課外学習（外出見学） 自分達で調べたことや、目標を立てたこと、役割で決めたことを実行することができる そこで見つけた新しい発見や、気になっていることをメモに取ることができる クラスみんなで協力して行い、できたことできなかったことをメモにとることができる ●事後学習（まとめ・発表） 見学したことをまとめて発表することができる。事前学習で実際に決めたことができたかを振り返る。 クラスのメンバーの良かったことをまとめて発表することができる。									
【履修に当たっての心構え・留意点】						【成績評価の方法と基準】					
将来働くために必要な、人と協力する力や、自分自身で考える力を身につけることができるように、自分だけでなく人にも興味を持つように意識する。						6段階評価の対象外科目であるため、出席率とS（合格）とU（不合格）で判断する。 外出見学終了後、まとめのレポートを作成する					

授 業 概 要

科目名	フィールドワーク	必修 選択の別	必修選択	開講 区分	後期	担当 教員	久保田 千尋				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	3	単位	総時間数	90	時間
【授業を通じての到達目標】											
課外活動についてPDCAサイクルの手法を用いて自分たちで企画・実施・振り返りを行う 校外学習（外出）を行う。見学先を自分たちで決め計画をし、実際に見学し、まとめて発表する。この一連の流れを通して、問題発見力や問題解決力を身につけるための準備を行う											
【学習内容】（どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業ではグループ学習を行い、将来働いた時に自ら発信する力や仲間と協力することを目指す。											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
ワークシート、フォーサイト手帳						フォーサイト手帳を使用し、自分のやるべきことの目標を立て、振り返りをし、実行することが出来る					
授業計画											
・現場総合学習		●前期の振り返り 前期の振り返りをし、後期の目標を立てる ●事前学習 自分の興味がある分野を調べ、課外学習先について下調べを行う。目的や当日の行動内容を考え行動できるように準備する ●課外学習（外出見学） 自分で調べたことや、目標を立てたこと、決めた内容を実行することができる そこで見つけた新しい発見や、気になっていることをメモに取ることができる 新しい発見や、できたことできなかったことをメモにとることができる ●事後学習（まとめ・発表） 見学したことをまとめて発表することができる。事前学習で実際に決めたことができたかを振り返る。 クラスの他のチームの良かったことを聞き、次回の自分の行動に活かすことができる。 ●成果発表会 1年間通じて現場総合学習を経験し、自分のできたこと難しかったこと、今後の課題となることをまとめて発表する 1人ではなく、グループで活動する上で気づいたことや大切なことをまとめることができる 成果発表会の準備や司会進行など自分たちでプログラムから考え行う									
【履修に当たっての心構え・留意点】						【成績評価の方法と基準】					
将来働くために必要な、人と協力する力や、自分自身で考える力を身につけることができるように、自分だけでなく人にも興味を持つように意識する。						6段階評価の対象外科目であるため、出席率とS（合格）とU（不合格）で判断する。 外出見学終了後、まとめのレポートを作成する					

授 業 概 要

科目名	インターンシップ	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	久保田 千尋				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	実習	単位数	1	単位	総時間数	45	時間
【授業を通じての到達目標】											
希望する就職分野の就労体験をして、将来像を明確にし、就職につなげることができる。											
認知特性、三者面談、個人面談を通じて就職分野を決め、現場実習を通じて働く体験を行う。また、課題を発見し卒業までの計画を立てる。											
【学習内容】（どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業では、将来働くことができるように、実際に職場に行き体験をし、自分にあった職種や職場を知りたい。											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
ワークシート、フォーサイト手帳						日々の挨拶や姿勢など、社会人になったら大切な基本的な習慣を身につけるように、日常の中で挨拶や言葉遣いを気をつけて生活してもらいたい					
授業計画											
インターンシップ準備	就職に向けて、自分の認知特性について再確認し、得意なところをもう一度知る 自分が就職してみたい分野や、自分の特性に合わせた企業や施設を数力所体験してみる 準備として ・インターンシップ（働くについて）をするにあたっての心構えや礼儀、挨拶の仕方、言葉遣いなど ・体験する場所…自分が行く場所について調べる ・目標の設定…自分が現場実習で達成する目標を立てる										
インターンシップ先にて現場で体験する	体験場所（学生に合わせた実習先（福祉分野・製造分野・食分野・特例子会社などを予定） 状況をみて判断する） ・実際に現場実習を行い、日々の日誌を作成する ・できたこと、できなかったことを日々の活動で振り返りをする										
インターンシップ終了後の振り返り	インターンシップを終えての振り返りをまとめ、発表する ・実際に体験してみて感想をまとめる ・事前に立てた目標が達成できたところ、できなかったところを振り返る ・クラスメイトに発表をし、クラスで共有し、今後の活動の参考にしていく ・インターンシップを体験した上で、今後の就職先決定に向けて準備を進める										
模擬面接	就職・進学活動に向けて模擬面接を行う ・履歴書の作成 ・リクルースタイルの確認、面接にふさわしい服装を確認する ・面接練習練習を行い、本番の就職面接で内定をもらえるように準備する										
社会福祉士一般養成科との合同授業	年代の違う人とのコミュニケーションの方法や、実際に働いた体験のある学生との交流 ・働くにあたって気になることや心構えを聞き、実際の進路活動に役立てる										
【履修に当たっての心構え・留意点】						【成績評価の方法と基準】					
卒業後働くということを体験し、自分の体力やメンタル面などどんな変化があるか体験をしてもらう。できたこととできないことを自覚し、今後の就職活動に活かしていく						6段階評価の対象外科目であるため、出席率とS（合格）とU（不合格）で判断する。					

授 業 概 要

科目名	国内研修	必修 選択の別	選択	開講 区分	後期	担当 教員	久保田 千尋				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1	単位	総時間数	30	時間
【授業を通じての到達目標】											
集団行動を通して社会性や協調性を養い、非日常の環境で1年間で学んできた知識や技術を発揮することができる 学生自らが見学先を選定・計画して校外学習を行い、事後は現地で得た気づきや発見をまとめて発表する。 この一連のプロセスを通じて、自ら課題を発見・解決する力を身につけ、就職後の業務に活かせる基盤を築く。											
【学習内容】（どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
精神保健福祉士として、精神科クリニックでの若年層（中高生・20代前半）向けデイケア（グループワークや保護者支援）の経験、および東京福祉専門学校での専門教科の指導経験を持つ教員が担当。 授業ではグループ学習を通じて、将来の就職後に必要となる「自ら発信する力」や「仲間と協力する（協働する）力」を実践的に養う。											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
ワークシート、フォーサイト手帳						フォーサイト手帳を使用し、自分のやるべきことの目標を立て、振り返りをし、実行することが出来る					
授業計画											
・現場総合学習		●全体のオリエンテーション ・1年間学んできたグループ活動の集大成として、自分たちがやってきたことを振り返る ・1人ではなく、チームで協力するために意識すること、自分がやるべきことを考える 視点を広げ、人と自分の価値観の違いを共有することの大切さを理解し、目標を立てることをできる ●事前学習 課外学習先について下調べを行う。グループごと目的や役割決め、および当日の行動計画の策定、当日までの準備。 ●課外学習（外出見学） 事前学習で設定した目標や役割の実行。 現地での新しい発見や疑問点のメモ（可能であればその場でのリサーチ） グループでの協力体制の検証（できたこと・できなかったことの記録） 「就職後に同様の問題が起きた際、どのように対応するか」を意識した行動の実行 ●事後学習（まとめ・発表） 見学内容の集約と、事前計画に対する振り返り。 体験したこと、得られた成果の動画やPowerPointへの取りまとめ 成果発表（プレゼンテーション）の実施									
【履修に当たっての心構え・留意点】						【成績評価の方法と基準】					
将来の就業に向けて、他者と協働する力や主体的に思考する力を養うため、自己のみならず他者へも関心を広げ、多様な価値観を理解・尊重する姿勢を意識する。						6段階評価の対象外科目であるため、出席率とS（合格）とU（不合格）で判断する。 外出見学終了後、まとめのレポートを作成する					